

資 料 編

資料1 射水市学校等のあり方検討委員会の検討経過について

1 学校等のあり方検討委員会

第1回 平成22年5月27日(木)

- ・委員長の互選及び副委員長の指名について
- ・部会の設置、所属委員及び部会長の指名について
- ・委員会の設置の目的等について
- ・検討事項について
- ・本市の現況について

第2回 平成22年6月28日(月)

- ・子どもたちにとって望ましい教育環境及び適正規模・適正配置の基準について
- ・学校等の適正規模・適正配置に向けた基本方針について
- ・学校等の適正規模・適正配置を進めるに当たっての留意すべき事項について

第3回 平成22年8月12日(木)

- ・学校等の適正規模・適正配置に向けた基本方針について(継続)
- ・学校等の適正規模・適正配置を進めるに当たっての留意すべき事項について(継続)

第4回 平成22年10月6日(水)

- ・中長期的な学校の適正配置について

第5回 平成22年12月1日(水)

- ・提言書(素案)について

2 重点検討地域部会

第1回 平成22年7月12日(月)

- ・作道地区、塚原地区及び大島地区における適正規模・適正配置について

資料2 射水市学校等のあり方検討委員会の検討事項について

小中学校におけるより良い教育環境を整備し、充実した教育環境を実現するため、学校等の適正規模、適正配置を検討するため、次の事項について検討し、提言書を作成するものとする。

【全市的な検討事項】

- 1 子どもたちにとって望ましい教育環境と学校等の適正規模・適正配置の基準に関すること
 - (1) 子どもたちにとって望ましい教育環境(学校の規模の要件、配置の要件)
 - (2) 射水市の適正規模、適正配置の基準

- 2 学校等の適正規模・適正配置に向けた基本方針に関すること
 - (1) 小規模校の取扱い
 - (2) 大規模校の取扱い
 - (3) 通学区域の変更等の取扱い
 - (4) 全市的な視野による学校の配置
 - (5) 将来を見据えた見直し
 - (6) その他

- 3 学校等の適正規模・適正配置を進めるに当たって留意すべき事項に関すること
 - (1) 情報の公開
 - (2) 懇談会の設置
 - (3) 地域特性への配慮
 - (4) 通学手段の確保
 - (5) その他

【大島小学校に係る検討事項】

- 1 大島小学校の整備の方向性に関すること

(追加検討事項)中長期的な学校の適正配置について

子どもたちにとって望ましい教育環境を実現するため、本委員会は学校の適正規模・適正配置の基準を検討してきた。本市全体を5ブロックに分け、検討してきた基準に基づき中長期的な学校の適正配置について検討する。

なお、ブロックは、中学校区をもとに地形・地物、地域コミュニティ、児童・生徒の通学に係る体力等を考慮して線引きを行う。

1 ブロック別に検討する事項

- (1) 中学校について（通学区域の見直し、学校の統合等）
- (2) 小学校について（通学区域の見直し、学校の統合等）

2 課題のある学校と地区

(1) 中学校

ア 現在9学級以下で全教科に専任教員を配置できない学校、及び将来見込まれる学校

- ・ 奈古中学校
- ・ 新湊西部中学校
- ・ 新湊南部中学校
- ・ 小杉南中学校

イ 通学距離が6 km を超える地区

- ・ 小杉中学校の通学区域である下地区の一部

(2) 小学校

ア 現在各学年1学級の学校、及び将来見込まれる学校

- ・ 放生津小学校
- ・ 堀岡小学校
- ・ 塚原小学校
- ・ 金山小学校
- ・ 下村小学校

イ 通学距離が4 km を超える地区

- ・ 大門小学校の通学区域である浅井、櫛田地区の一部

資料3

射水市学校等のあり方検討委員会委員名簿

区 分	氏 名	所 属
学識経験者	松本 謙一	富山大学人間発達科学部教授
	境 孝雄	市PTA連絡協議会長(新湊西部中学校PTA会長)
地域代表者	大代 武夫	新湊地区自治会連合会長(新湊地区)
	岸 正俊	塚原校下自治会連合会長(新湊地区)
	竹内 敬俊	作道校下自治会連合会長(新湊地区)
	宮城 澄男	小杉地区自治会連合会副会長(小杉地区)
	佐伯 嘉久	大門地区自治会連合会理事(大門地区)
	佐々木 章	大島地区自治会連合会長(大島地区)
	墓越 訓夫	下地区自治会連合会監事(下地区)
PTA代表	越後 裕	奈古中学校PTA会長
	平野 雅一	新湊小学校PTA会長
	中島 英樹	塚原小学校PTA会長
	石黒 幸浩	作道小学校PTA会長
	森 一也	小杉小学校PTA会長
	角谷 益孝	大門小学校PTA会長
	松野 禎夫	大島小学校PTA会長
	萩野 康彦	下村小学校PTA会長
学校関係者	黒田 和治	金山小学校長
	仙田也寸志	小杉中学校長
	野上 克裕	片口小学校長
公募委員	岡山 萌子	

委員長 副委員長

以上 21人

重点検討地域部会委員名簿

区 分	氏 名	所 属
地域代表者	岸 正俊	塚原校下自治会連合会長(新湊地区)
	竹内 敬俊	作道校下自治会連合会長(新湊地区)
	佐々木 章	大島地区自治会連合会長(大島地区)
P T A代表	中島 英樹	塚原小学校 P T A 会長
	石黒 幸浩	作道小学校 P T A 会長
	松野 禎夫	大島小学校 P T A 会長
学校関係者	仙田也寸志	小杉中学校長
	野上 克裕	片口小学校長

部会長

以上 8人

資料4

射水市学校等のあり方検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 小中学校におけるより良い教育環境を整備し、充実した教育の実現に資するため、学校等の適正規模、適正配置等について検討を行うことを目的に、射水市学校等のあり方検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討し、教育委員会に提言する。

- (1) 学校等の望ましい適正規模、適正配置に関すること。
- (2) 学校等の統合及び校区に関すること。
- (3) その他上記に関連した教育効果に関すること。

(委員の構成)

第3条 委員は、次の各号に掲げる者の中から教育委員会が委嘱する委員21人以内をもって構成する。

- (1) 学識経験者
- (2) 地域を代表する者
- (3) 保護者会及びPTA関係者
- (4) 小中学校長
- (5) 各種団体から推薦された者
- (6) 公募者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日から委員会の最終的な意見等を教育委員会に提言した日までとする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は委員の互選により選出し、副委員長は委員長が指名する。
- 3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 4 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 4 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。
- 5 委員会の会議は、公開とする。ただし、委員会の決定があったときは、非公開とすることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会教育総務課において行う。

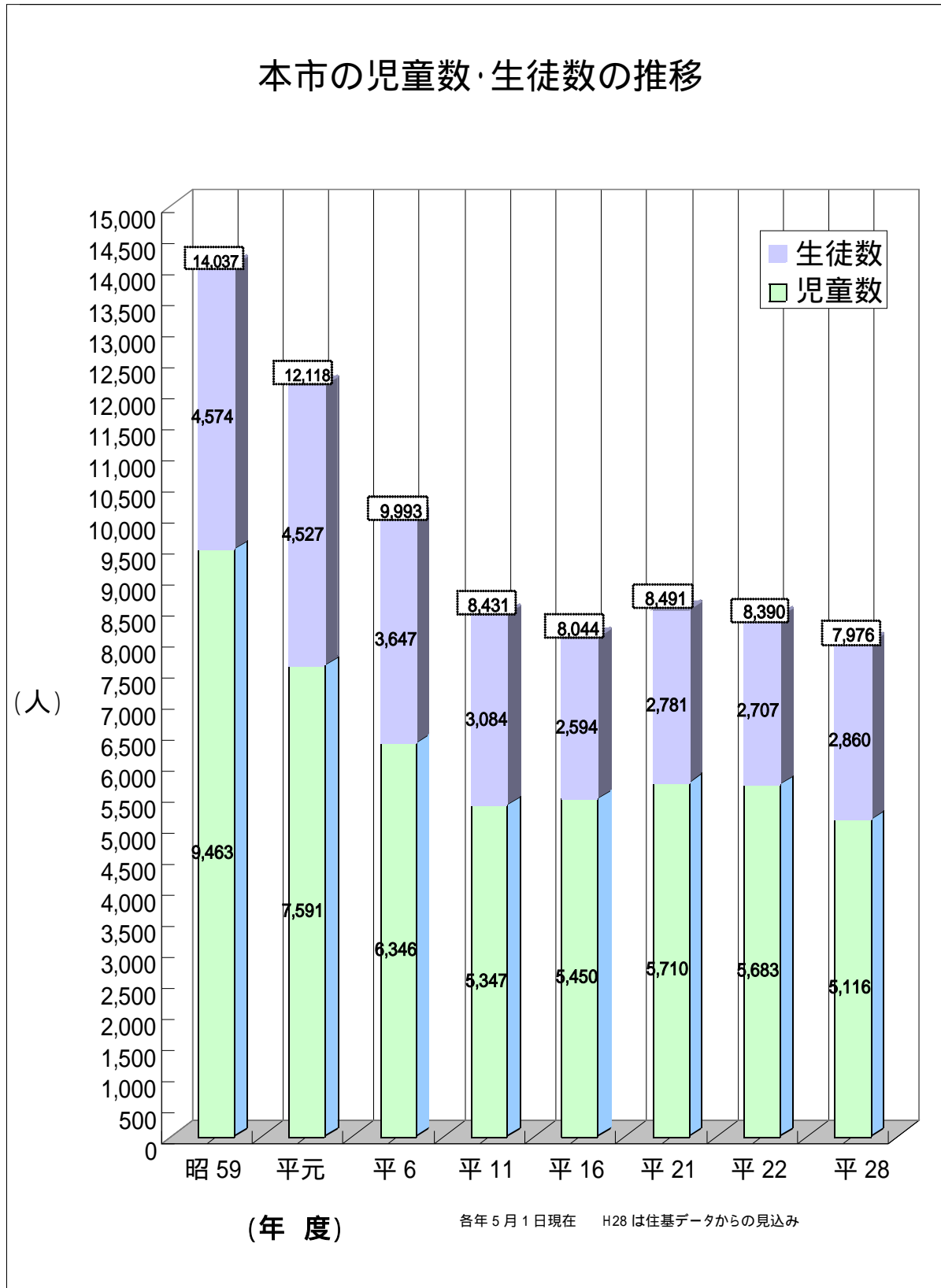
(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

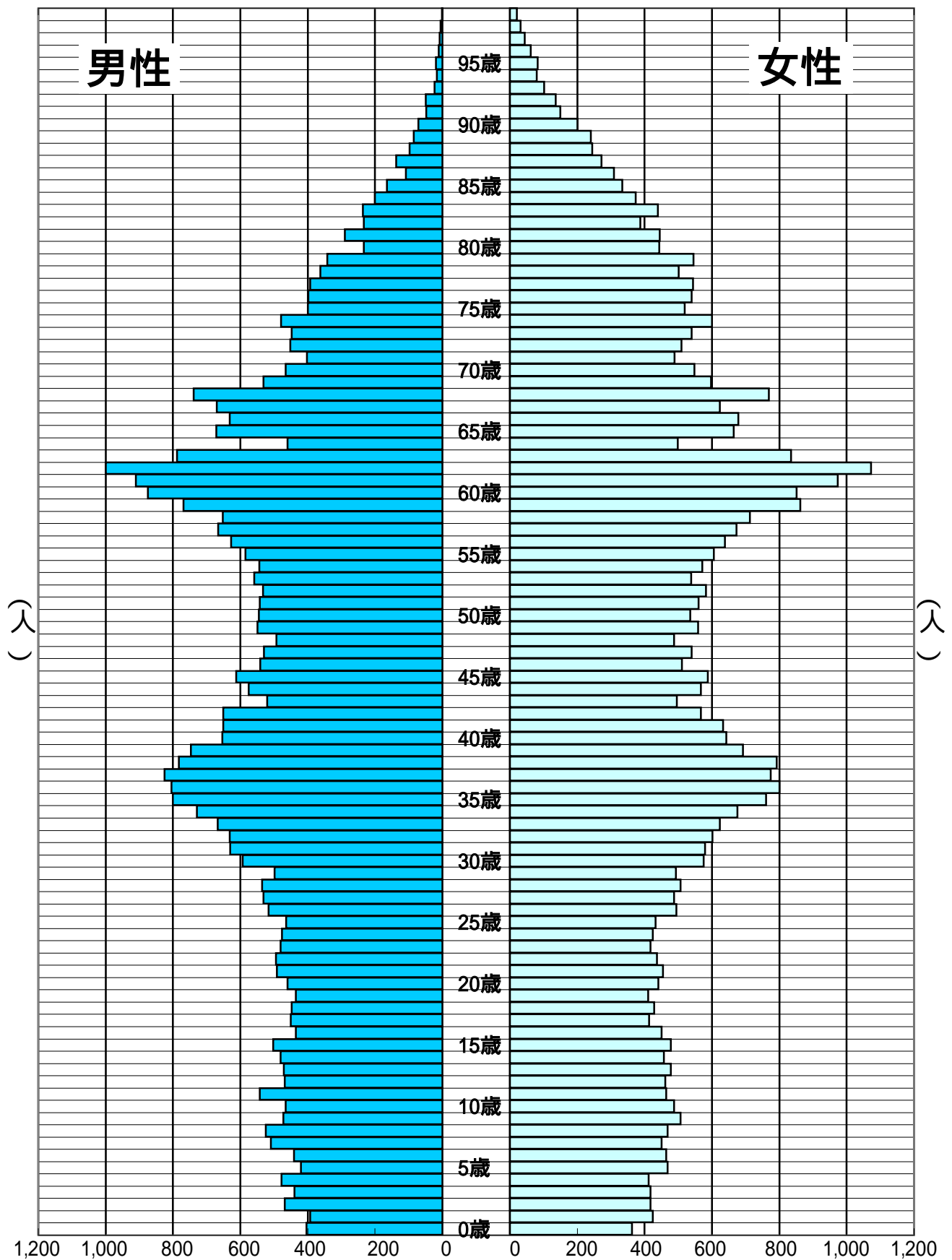
この要綱は、平成22年5月25日から施行する。

資料5 本市の児童数（小学生）・生徒数（中学生）の推移



本市の人口ピラミッド(年齢男女別)

平成22年4月1日現在(住民基本台帳人口 外国人登録者数から作成)



資料7 学校の児童・生徒数と学級数の推移の見込み (40人学級)

(1) 総括

市内小学校学校規模の推移見込み(平22と平28比較)

小学校

平成22年5月1日現在

学校名 建設年度 校地面積	耐震性の 有無	学校規模の推移						児童数の推移 (平22・平28) ()は平22と 平28の比較	児童数 /学級数 (平28)
		過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模		
				適正規模					
1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上				
放生津小学校 昭63,平1 29,418㎡	有		平28(6)←	平22(12)				平22 279人 平28 199人 (80人、 29%)	33.2人
新湊小学校 平2,3 26,860㎡	有			平22(12) 平28(12)				平22 340人 平28 293人 (47人、 14%)	24.4人
作道小学校 昭56 26,672㎡	校舎 無 体育館 有		平28(11)←	平22(12)				平22 277人 平28 281人 (4人、 1%)	25.5人
片口小学校 昭59,平6,7,11,21 21,784㎡	有		平22(11) 平28(11)					平22 304人 平28 285人 (19人、 16%)	25.9人
堀岡小学校 平13,14 27,260㎡	有		平22(6) 平28(6)					平22 148人 平28 162人 (14人、 9%)	27.0人
東明小学校 昭47,48 29,249㎡	有			平22(12) 平28(12)				平22 405人 平28 328人 (77人、 19%)	27.3人
塚原小学校 昭54,55,56 17,975㎡	一部校舎有 体育館 有		平22(6) 平28(6)					平22 164人 平28 142人 (22人、 13%)	23.7人
小杉小学校 昭45,46,47 33,039㎡	一部校舎有 体育館 有			平28(18)←	平22(19)			平22 614人 平28 556人 (58人、 9%)	30.9人
金山小学校 昭49,50,平8 14,602㎡	有		平22(6) 平28(6)					平22 76人 平28 64人 (12人、 16%)	10.7人
歌の森小学校 昭56,57,58,平13,17 23,740㎡	有			平22(15) 平28(14)				平22 460人 平28 437人 (23人、 5%)	31.2人
太閤山小学校 平16,17 32,817㎡	有			平22(17) 平28(13)				平22 537人 平28 451人 (86人、 16%)	34.7人
中太閤山小学校 昭51,52,54 23,415㎡	有			平22(13) 平28(12)				平22 404人 平28 366人 (38人、 9%)	30.5人
大門小学校 平16,17 30,591㎡	有				平28(24)←	平22(26)		平22 845人 平28 790人 (55人、 7%)	32.9人
下村小学校 昭45,54 10,863㎡	一部校舎有 体育館 無		平22(6) 平28(6)					平22 125人 平28 91人 (34人、 27%)	15.2人
大島小学校 昭29,30,51,57 23,347㎡	一部校舎有 体育館 有				平22(20) 平28(21)			平22 705人 平28 671人 (34人、 5%)	32.0人
計			平28(178)← 平均11.9	平22(193) 平均12.9				平22 5683人 平28 5116人 (567人、 10%)	28.7人

学校規模の分類については、文部省助成課資料(昭和59年作成)「これからの学校施設づくり」資料による。

1、2年生は35人以下1学級。3～6年生は40人以下1学級。()内の数は、普通学級数

平成23年度以降の学級数(見込み)は、射水市住民基本台帳のデータの児童数(見込み)から算出。

市内中学校学校規模の推移見込み(平22と平28と平34比較)

中 学 校

平成22年5月1日現在

学 校 名 建設年度 校地面積	耐震性の 有無	学校規模の推移						生徒数の推移 (平22・平28・平34) ()は平22と 平34の比較	児童数 / 学級数 (平34)
		過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模		
				適正規模					
		1～5	6～11	12～18	19～24	25～30	31以上		
奈古中学校 昭48,49 38,292㎡	一部校舎有 体育館 無 武道館 有	←平34(5)	平22(6) 平28(6)					平22 191人 平28 179人 平34 128人 (63人、 33%)	25.6人
新湊西部中学校 昭61,62 21,912㎡	有	←平28(4) ←平34(4)	平22(6)					平22 159人 平28 119人 平34 109人 (50人、 31%)	27.3人
新湊南部中学校 平19,20 31,185㎡	有		平22(8) 平28(6) 平34(6)					平22 244人 平28 218人 平34 218人 (26人、 11%)	36.3人
射北中学校 昭52,53 21,939㎡	校舎 無 体育館 有 武道館 有		←平34(11)	平22(12) 平28(12)				平22 447人 平28 412人 平34 369人 (78人、 17%)	33.5人
小杉中学校 昭53,54 33,580㎡	校舎 無 体育館 有				←平22(19) ←平28(19)			平22 649人 平28 718人 平34 630人 (19人、 3%)	35.0人
小杉南中学校 昭57,58,61 32,146㎡	有		←平22(11) ←平34(9)	→平28(12)				平22 363人 平28 412人 平34 330人 (33人、 9%)	36.7人
大門中学校 昭46,47,59,63 58,622㎡	一部校舎有 体育館 有			←平22(18)	→平28(22) ←平34(19)			平22 654人 平28 802人 平34 699人 (45人、7%)	36.8人
計			平22(80) 平28(81) 平34(72)	平均11.4 平均11.6 平均10.3				平22 2707人 平28 2860人 平34 2483人 (224人、 8%)	34.5人

学校規模の分類については、文部省助成課資料(昭和59年作成)「これからの学校施設づくり」資料による。

学級数は1学級40人以下で算出。()内の数は、普通学級数

平成23年度以降の学級数(見込み)は、射水市住民基本台帳のデータの生徒数(見込み)から算出。

(2) 小学校

小学校の児童数と学級数の推移と予測

放生津小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	55	44	55	38	52	37		281
	学級数	2	2	2	1	2	1	1	11
21年度	児童数	43	48	49	45	56	45		286
	学級数	2	2	2	2	2	2	1	13
22年度	児童数	45	41	49	45	44	55		279
	学級数	2	2	2	2	2	2	1	13
23年度 (見込み)	児童数	33	45	41	49	45	44		257
	学級数	1	2	2	2	2	2		11
24年度 (見込み)	児童数	38	33	45	41	49	45		251
	学級数	2	1	2	2	2	2		11
25年度 (見込み)	児童数	32	38	33	45	41	49		238
	学級数	1	2	1	2	2	2		10
26年度 (見込み)	児童数	37	32	38	33	45	41		226
	学級数	2	1	1	1	2	2		9
27年度 (見込み)	児童数	28	37	32	38	33	45		213
	学級数	1	2	1	1	1	2		8
28年度 (見込み)	児童数	31	28	37	32	38	33		199
	学級数	1	1	1	1	1	1		6

新湊小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	63	52	64	76	90	71		416
	学級数	2	2	2	2	3	2	2	15
21年度	児童数	53	44	38	58	60	54		307
	学級数	2	2	1	2	2	2	2	13
22年度	児童数	51	59	52	46	65	67		340
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	14
23年度 (見込み)	児童数	47	51	59	52	46	65		320
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
24年度 (見込み)	児童数	52	47	51	59	52	46		307
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
25年度 (見込み)	児童数	53	52	47	51	59	52		314
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
26年度 (見込み)	児童数	48	53	52	47	51	59		310
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
27年度 (見込み)	児童数	48	48	53	52	47	51		299
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
28年度 (見込み)	児童数	45	48	48	53	52	47		293
	学級数	2	2	2	2	2	2		12

中伏木小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	11	6	12	6	14	11		60
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
21年度	児童数	4	8	9	6	7	5		39
	学級数	1	1	1	1	1	1	0	4

作道小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	51	50	44	52	62	44		303
	学級数	2	2	2	2	2	2	1	13
21年度	児童数	40	38	52	42	48	53		273
	学級数	2	2	2	2	2	2	1	13
22年度	児童数	48	40	42	52	44	51		277
	学級数	2	2	2	2	2	2	1	13
23年度 (見込み)	児童数	49	48	40	42	52	44		275
	学級数	2	2	1	2	2	2		11
24年度 (見込み)	児童数	48	49	48	40	42	52		279
	学級数	2	2	2	1	2	2		11
25年度 (見込み)	児童数	33	48	49	48	40	42		260
	学級数	1	2	2	2	1	2		10
26年度 (見込み)	児童数	61	33	48	49	48	40		279
	学級数	2	1	2	2	2	1		10
27年度 (見込み)	児童数	39	61	33	48	49	48		278
	学級数	2	2	1	2	2	2		11
28年度 (見込み)	児童数	51	39	61	33	48	49		281
	学級数	2	2	2	1	2	2		11

片口小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	66	57	57	63	56	50		349
	学級数	2	2	2	2	2	2	1	13
21年度	児童数	54	40	48	44	65	58		309
	学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
22年度	児童数	53	55	39	49	42	66		304
	学級数	2	2	1	2	2	2	3	14
23年度 (見込み)	児童数	37	53	55	39	49	42		275
	学級数	2	2	2	1	2	2		11
24年度 (見込み)	児童数	54	37	53	55	39	49		287
	学級数	2	2	2	2	1	2		11
25年度 (見込み)	児童数	47	54	37	53	55	39		285
	学級数	2	2	1	2	2	1		10
26年度 (見込み)	児童数	55	47	54	37	53	55		301
	学級数	2	2	2	1	2	2		11
27年度 (見込み)	児童数	54	55	47	54	37	53		300
	学級数	2	2	2	2	1	2		11
28年度 (見込み)	児童数	38	54	55	47	54	37		285
	学級数	2	2	2	2	2	1		11

堀岡小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	24	25	30	24	20	15		138
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
21年度	児童数	19	31	28	25	26	24		153
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
22年度	児童数	20	19	30	30	24	25		148
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
23年度 (見込み)	児童数	32	20	19	30	30	24		155
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
24年度 (見込み)	児童数	23	32	20	19	30	30		154
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
25年度 (見込み)	児童数	28	23	32	20	19	30		152
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
26年度 (見込み)	児童数	29	28	23	32	20	19		151
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
27年度 (見込み)	児童数	30	29	28	23	32	20		162
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
28年度 (見込み)	児童数	20	30	29	28	23	32		162
	学級数	1	1	1	1	1	1		6

東明小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	70	65	72	67	64	70		408
	学級数	2	2	2	2	2	2	1	13
21年度	児童数	50	73	78	62	72	70		405
	学級数	2	3	2	2	2	2	1	14
22年度	児童数	62	52	74	80	64	73		405
	学級数	2	2	2	2	2	2	1	13
23年度 (見込み)	児童数	59	62	52	74	80	64		391
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
24年度 (見込み)	児童数	65	59	62	52	74	80		392
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
25年度 (見込み)	児童数	62	65	59	62	52	74		374
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
26年度 (見込み)	児童数	55	62	65	59	62	52		355
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
27年度 (見込み)	児童数	50	55	62	65	59	62		353
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
28年度 (見込み)	児童数	37	50	55	62	65	59		328
	学級数	2	2	2	2	2	2		12

塚原小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	32	29	42	29	29	36		197
	学級数	1	1	2	1	1	1	1	8
21年度	児童数	25	30	29	26	31	26		167
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
22年度	児童数	24	25	30	28	26	31		164
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
23年度 (見込み)	児童数	20	24	25	30	28	26		153
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
24年度 (見込み)	児童数	21	20	24	25	30	28		148
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
25年度 (見込み)	児童数	34	21	20	24	25	30		154
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
26年度 (見込み)	児童数	16	34	21	20	24	25		140
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
27年度 (見込み)	児童数	26	16	34	21	20	24		141
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
28年度 (見込み)	児童数	25	26	16	34	21	20		142
	学級数	1	1	1	1	1	1		6

小杉小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	91	111	106	98	120	120		646
	学級数	3	4	3	3	3	3	2	21
21年度	児童数	111	98	96	114	90	106		615
	学級数	4	3	3	3	3	3	2	21
22年度	児童数	101	112	98	97	117	89		614
	学級数	3	4	3	3	3	3	2	21
23年度 (見込み)	児童数	95	101	112	98	97	117		620
	学級数	3	3	3	3	3	3		18
24年度 (見込み)	児童数	97	95	101	112	98	97		600
	学級数	3	3	3	3	3	3		18
25年度 (見込み)	児童数	92	97	95	101	112	98		595
	学級数	3	3	3	3	3	3		18
26年度 (見込み)	児童数	92	92	97	95	101	112		589
	学級数	3	3	3	3	3	3		18
27年度 (見込み)	児童数	81	92	92	97	95	101		558
	学級数	3	3	3	3	3	3		18
28年度 (見込み)	児童数	99	81	92	92	97	95		556
	学級数	3	3	3	3	3	3		18

金山小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	15	10	13	16	15	9		78
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
21年度	児童数	12	17	7	16	16	9		77
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
22年度	児童数	7	13	17	7	16	16		76
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
23年度 (見込み)	児童数	10	7	13	17	7	16		70
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
24年度 (見込み)	児童数	9	10	7	13	17	7		63
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
25年度 (見込み)	児童数	11	9	10	7	13	17		67
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
26年度 (見込み)	児童数	13	11	9	10	7	13		63
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
27年度 (見込み)	児童数	11	13	11	9	10	7		61
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
28年度 (見込み)	児童数	10	11	13	11	9	10		64
	学級数	1	1	1	1	1	1		6

歌の森小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	70	70	63	62	66	59		390
	学級数	2	3	2	2	2	2	1	14
21年度	児童数	84	85	63	77	76	71		456
	学級数	3	3	2	2	2	2	2	16
22年度	児童数	80	84	84	63	75	74		460
	学級数	3	3	3	2	2	2	2	17
23年度 (見込み)	児童数	78	80	84	84	63	75		464
	学級数	3	3	3	3	2	2		16
24年度 (見込み)	児童数	71	78	80	84	84	63		460
	学級数	3	3	2	3	3	2		16
25年度 (見込み)	児童数	69	71	78	80	84	84		466
	学級数	2	3	2	2	3	3		15
26年度 (見込み)	児童数	73	69	71	78	80	84		455
	学級数	3	2	2	2	2	3		14
27年度 (見込み)	児童数	73	73	69	71	78	80		444
	学級数	3	3	2	2	2	2		14
28年度 (見込み)	児童数	73	73	73	69	71	78		437
	学級数	3	3	2	2	2	2		14

太閤山小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	86	61	67	73	66	56		409
	学級数	3	2	2	2	2	2	2	15
21年度	児童数	98	89	100	95	94	73		549
	学級数	3	3	3	3	3	2	2	19
22年度	児童数	65	97	87	99	97	92		537
	学級数	2	3	3	3	3	3	2	19
23年度 (見込み)	児童数	73	65	97	87	99	97		518
	学級数	3	2	3	3	3	3		17
24年度 (見込み)	児童数	92	73	65	97	87	99		513
	学級数	3	3	2	3	3	3		17
25年度 (見込み)	児童数	79	92	73	65	97	87		493
	学級数	3	3	2	2	3	3		16
26年度 (見込み)	児童数	74	79	92	73	65	97		480
	学級数	3	3	3	2	2	3		16
27年度 (見込み)	児童数	70	74	79	92	73	65		453
	学級数	2	3	2	3	2	2		14
28年度 (見込み)	児童数	63	70	74	79	92	73		451
	学級数	2	2	2	2	3	2		13

中太閤山小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	87	80	79	77	77	74		474
	学級数	3	3	2	2	2	2	3	17
21年度	児童数	69	63	81	56	82	67		418
	学級数	2	2	2	2	3	2	3	16
22年度	児童数	59	67	61	81	56	80		404
	学級数	2	2	2	2	2	3	3	16
23年度 (見込み)	児童数	63	59	67	61	81	56		387
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
24年度 (見込み)	児童数	66	63	59	67	61	81		397
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
25年度 (見込み)	児童数	57	66	63	59	67	61		373
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
26年度 (見込み)	児童数	50	57	66	63	59	67		362
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
27年度 (見込み)	児童数	66	50	57	66	63	59		361
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
28年度 (見込み)	児童数	64	66	50	57	66	63		366
	学級数	2	2	2	2	2	2		12

大門小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	94	89	63	77	73	74		470
	学級数	3	3	2	2	2	2	2	16
21年度	児童数	149	136	140	124	144	129		822
	学級数	5	4	4	4	4	4	2	27
22年度	児童数	148	150	139	137	126	145		845
	学級数	5	5	4	4	4	4	2	28
23年度 (見込み)	児童数	149	148	150	139	137	126		849
	学級数	5	5	4	4	4	4		26
24年度 (見込み)	児童数	125	149	148	150	139	137		848
	学級数	4	5	4	4	4	4		25
25年度 (見込み)	児童数	147	125	149	148	150	139		858
	学級数	5	4	4	4	4	4		25
26年度 (見込み)	児童数	134	147	125	149	148	150		853
	学級数	4	5	4	4	4	4		25
27年度 (見込み)	児童数	119	134	147	125	149	148		822
	学級数	4	4	4	4	4	4		24
28年度 (見込み)	児童数	116	119	134	147	125	149		790
	学級数	4	4	4	4	4	4		24

浅井小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	35	18	34	20	26	22		155
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	7

櫛田小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	9	16	16	16	16	18		91
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	7

下村小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	19	14	19	22	14	24		112
	学級数	1	1	1	1	1	1	0	6
21年度	児童数	20	22	22	19	19	12		114
	学級数	1	1	1	1	1	1	0	6
22年度	児童数	23	20	22	22	19	19		125
	学級数	1	1	1	1	1	1	0	6
23年度 (見込み)	児童数	18	23	20	22	22	19		124
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
24年度 (見込み)	児童数	12	18	23	20	22	22		117
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
25年度 (見込み)	児童数	14	12	18	23	20	22		109
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
26年度 (見込み)	児童数	20	14	12	18	23	20		107
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
27年度 (見込み)	児童数	18	20	14	12	18	23		105
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
28年度 (見込み)	児童数	9	18	20	14	12	18		91
	学級数	1	1	1	1	1	1		6

大島小学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援 学級	計
17年度	児童数	108	112	96	106	112	81		615
	学級数	4	4	3	3	3	3	1	21
21年度	児童数	106	151	123	122	105	113		720
	学級数	3	5	4	4	3	3	3	25
22年度	児童数	102	107	151	122	121	102		705
	学級数	3	3	4	4	3	3	3	23
23年度 (見込み)	児童数	125	102	107	151	122	121		728
	学級数	4	3	3	4	4	3		21
24年度 (見込み)	児童数	117	125	102	107	151	122		724
	学級数	4	4	3	3	4	4		22
25年度 (見込み)	児童数	102	117	125	102	107	151		704
	学級数	3	4	4	3	3	4		21
26年度 (見込み)	児童数	131	102	117	125	102	107		684
	学級数	4	3	3	4	3	3		20
27年度 (見込み)	児童数	107	131	102	117	125	102		684
	学級数	4	4	3	3	4	3		21
28年度 (見込み)	児童数	89	107	131	102	117	125		671
	学級数	3	4	4	3	3	4		21

(3) 中学校

中学校の生徒数と学級数の推移と予測

奈古中学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	特別支援 学級	計
17年度	生徒数	57	65	57		179
	学級数	2	2	2	1	7
21年度	生徒数	73	61	80		214
	学級数	2	2	2	1	7
22年度	生徒数	58	72	61		191
	学級数	2	2	2	1	7
23年度 (見込み)	生徒数	77	58	72		207
	学級数	2	2	2		6
24年度 (見込み)	生徒数	56	77	58		191
	学級数	2	2	2		6
25年度 (見込み)	生徒数	55	56	77		188
	学級数	2	2	2		6
26年度 (見込み)	生徒数	64	55	56		175
	学級数	2	2	2		6
27年度 (見込み)	生徒数	56	64	55		175
	学級数	2	2	2		6
28年度 (見込み)	生徒数	59	56	64		179
	学級数	2	2	2		6
29年度 (見込み)	生徒数	43	59	56		158
	学級数	2	2	2		6
30年度 (見込み)	生徒数	47	43	59		149
	学級数	2	2	2		6
31年度 (見込み)	生徒数	44	47	43		134
	学級数	2	2	2		6
32年度 (見込み)	生徒数	49	44	47		140
	学級数	2	2	2		6
33年度 (見込み)	生徒数	35	49	44		128
	学級数	1	2	2		5
34年度 (見込み)	生徒数	44	35	49		128
	学級数	2	1	2		5

新湊西部中学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	特別支援 学級	計
17年度	生徒数	55	66	63		184
	学級数	2	2	2	1	7
21年度	生徒数	55	60	73		188
	学級数	2	2	2	1	7
22年度	生徒数	44	55	60		159
	学級数	2	2	2	1	7
23年度 (見込み)	生徒数	47	44	55		146
	学級数	2	2	2		6
24年度 (見込み)	生徒数	56	47	44		147
	学級数	2	2	2		6
25年度 (見込み)	生徒数	39	56	47		142
	学級数	1	2	2		5
26年度 (見込み)	生徒数	39	39	56		134
	学級数	1	1	2		4
27年度 (見込み)	生徒数	43	39	39		121
	学級数	2	1	1		4
28年度 (見込み)	生徒数	37	43	39		119
	学級数	1	2	1		4
29年度 (見込み)	生徒数	37	37	43		117
	学級数	1	1	2		4
30年度 (見込み)	生徒数	43	37	37		117
	学級数	2	1	1		4
31年度 (見込み)	生徒数	41	43	37		121
	学級数	2	2	1		5
32年度 (見込み)	生徒数	36	41	43		120
	学級数	1	2	2		5
33年度 (見込み)	生徒数	41	36	41		118
	学級数	2	1	2		5
34年度 (見込み)	生徒数	32	41	36		109
	学級数	1	2	1		4

新湊南部中学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	特別支援 学級	計
17年度	生徒数	81	87	83		251
	学級数	3	3	3	1	10
21年度	生徒数	86	80	95		261
	学級数	3	2	3	1	9
22年度	生徒数	79	85	80		244
	学級数	3	3	2	1	9
23年度 (見込み)	生徒数	85	79	85		249
	学級数	3	2	3		8
24年度 (見込み)	生徒数	72	85	79		236
	学級数	2	3	2		7
25年度 (見込み)	生徒数	83	72	85		240
	学級数	3	2	3		8
26年度 (見込み)	生徒数	73	83	72		228
	学級数	2	3	2		7
27年度 (見込み)	生徒数	70	73	83		226
	学級数	2	2	3		7
28年度 (見込み)	生徒数	75	70	73		218
	学級数	2	2	2		6
29年度 (見込み)	生徒数	69	75	70		214
	学級数	2	2	2		6
30年度 (見込み)	生徒数	69	69	75		213
	学級数	2	2	2		6
31年度 (見込み)	生徒数	67	69	69		205
	学級数	2	2	2		6
32年度 (見込み)	生徒数	77	67	69		213
	学級数	2	2	2		6
33年度 (見込み)	生徒数	65	77	67		209
	学級数	2	2	2		6
34年度 (見込み)	生徒数	76	65	77		218
	学級数	2	2	2		6

射北中学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	特別支援 学級	計
17年度	生徒数	115	135	115		365
	学級数	3	4	3	1	11
21年度	生徒数	152	151	134		437
	学級数	5	4	4	1	14
22年度	生徒数	145	152	150		447
	学級数	4	4	4	1	13
23年度 (見込み)	生徒数	165	145	152		462
	学級数	5	4	4		13
24年度 (見込み)	生徒数	136	165	145		446
	学級数	4	5	4		13
25年度 (見込み)	生徒数	163	136	165		464
	学級数	5	4	5		14
26年度 (見込み)	生徒数	144	163	136		443
	学級数	4	5	4		13
27年度 (見込み)	生徒数	129	144	163		436
	学級数	4	4	5		13
28年度 (見込み)	生徒数	139	129	144		412
	学級数	4	4	4		12
29年度 (見込み)	生徒数	128	139	129		396
	学級数	4	4	4		12
30年度 (見込み)	生徒数	142	128	139		409
	学級数	4	4	4		12
31年度 (見込み)	生徒数	137	142	128		407
	学級数	4	4	4		12
32年度 (見込み)	生徒数	139	137	142		418
	学級数	4	4	4		12
33年度 (見込み)	生徒数	134	139	137		410
	学級数	4	4	4		12
34年度 (見込み)	生徒数	96	134	139		369
	学級数	3	4	4		11

小杉中学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	特別支援 学級	計
17年度	生徒数	199	189	207		595
	学級数	5	5	6	1	17
21年度	生徒数	214	224	223		661
	学級数	7	6	6	1	20
22年度	生徒数	214	213	222		649
	学級数	7	6	6	1	20
23年度 (見込み)	生徒数	230	214	213		657
	学級数	6	6	6		18
24年度 (見込み)	生徒数	252	230	214		696
	学級数	7	6	6		19
25年度 (見込み)	生徒数	238	252	230		720
	学級数	6	7	6		19
26年度 (見込み)	生徒数	237	238	252		727
	学級数	6	6	7		19
27年度 (見込み)	生徒数	257	237	238		732
	学級数	7	6	6		19
28年度 (見込み)	生徒数	224	257	237		718
	学級数	6	7	6		19
29年度 (見込み)	生徒数	211	224	257		692
	学級数	6	6	7		19
30年度 (見込み)	生徒数	222	211	224		657
	学級数	6	6	6		18
31年度 (見込み)	生徒数	212	222	211		645
	学級数	6	6	6		18
32年度 (見込み)	生徒数	214	212	222		648
	学級数	6	6	6		18
33年度 (見込み)	生徒数	205	214	212		631
	学級数	6	6	6		18
34年度 (見込み)	生徒数	211	205	214		630
	学級数	6	6	6		18

小杉南中学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	特別支援 学級	計
17年度	生徒数	112	118	121		351
	学級数	3	3	3	1	10
21年度	生徒数	127	122	128		377
	学級数	4	3	4	2	13
22年度	生徒数	113	129	121		363
	学級数	4	4	3	3	14
23年度 (見込み)	生徒数	151	113	129		393
	学級数	4	4	4		12
24年度 (見込み)	生徒数	132	151	113		396
	学級数	4	4	4		12
25年度 (見込み)	生徒数	140	132	151		423
	学級数	4	4	4		12
26年度 (見込み)	生徒数	140	140	132		412
	学級数	4	4	4		12
27年度 (見込み)	生徒数	148	140	140		428
	学級数	4	4	4		12
28年度 (見込み)	生徒数	124	148	140		412
	学級数	4	4	4		12
29年度 (見込み)	生徒数	127	124	148		399
	学級数	4	4	4		12
30年度 (見込み)	生徒数	125	127	124		376
	学級数	4	4	4		12
31年度 (見込み)	生徒数	110	125	127		362
	学級数	3	4	4		11
32年度 (見込み)	生徒数	107	110	125		342
	学級数	3	3	4		10
33年度 (見込み)	生徒数	114	107	110		331
	学級数	3	3	3		9
34年度 (見込み)	生徒数	109	114	107		330
	学級数	3	3	3		9

大門中学校

年度	区分	1学年	2学年	3学年	特別支援 学級	計
17年度	生徒数	227	204	219		650
	学級数	6	6	6	0	18
21年度	生徒数	202	213	228		643
	学級数	6	6	6	2	20
22年度	生徒数	236	204	214		654
	学級数	6	6	6	2	20
23年度 (見込み)	生徒数	249	236	203		688
	学級数	7	6	6		19
24年度 (見込み)	生徒数	249	249	236		734
	学級数	7	7	6		20
25年度 (見込み)	生徒数	264	249	249		762
	学級数	7	7	7		21
26年度 (見込み)	生徒数	292	264	249		805
	学級数	8	7	7		22
27年度 (見込み)	生徒数	259	292	264		815
	学級数	7	8	7		22
28年度 (見込み)	生徒数	251	259	292		802
	学級数	7	7	8		22
29年度 (見込み)	生徒数	273	251	259		783
	学級数	7	7	7		21
30年度 (見込み)	生徒数	242	273	251		766
	学級数	7	7	7		21
31年度 (見込み)	生徒数	249	242	273		764
	学級数	7	7	7		21
32年度 (見込み)	生徒数	265	249	242		756
	学級数	7	7	7		21
33年度 (見込み)	生徒数	226	265	249		740
	学級数	6	7	7		20
34年度 (見込み)	生徒数	208	226	265		699
	学級数	6	6	7		19

(参考)資料7 学校の児童・生徒数と学級数の推移の見込み (35人学級)

(35人学級の見込みは、平成22年8月に文部科学省が策定した「新・公立義務教育諸学校教職員定数改善計画(案)」による。)

市内小学校学校規模の推移見込み(平22と平28比較)

小 学 校

35人学級の場合(23年度以降)

平成22年5月1日現在

学校名 建設年度 校地面積	耐震性の 有無	学校規模の推移						児童数の推移 (平22・平28)
		過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	
				適正規模				
		1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
放生津小学校 昭63,平1 29,418㎡	有		平28(8) ← 平22(12) 平28(6)					平22 279人 平28 199人
新湊小学校 平2,3 26,860㎡	有			平22(12) 平28(12)				平22 340人 平28 293人
作道小学校 昭56 26,672㎡	校舎 無 体育館 有		平28(11) ← 平22(12)					平22 277人 平28 281人
片口小学校 昭59,平6,7,11 21,784㎡	有		平22(11) → 平28(12)		平28(11)			平22 304人 平28 285人
堀岡小学校 平13,14 27,260㎡	有		平22(6) 平28(6)					平22 148人 平28 162人
東明小学校 昭47,48 29,249㎡	有			平22(12) 平28(12)				平22 405人 平28 328人
塚原小学校 昭54,55,56 17,975㎡	一部校舎有 体育館 有		平22(6) 平28(6)					平22 164人 平28 142人
小杉小学校 昭45,46,47 33,039㎡	一部校舎有 体育館 有			平28(18) ← 平22(19)				平22 614人 平28 556人
金山小学校 昭49,50,平8 14,602㎡	有		平22(6) 平28(6)					平22 76人 平28 64人
歌の森小学校 昭56,57,58,平13,17 24,280㎡	有			平22(15) 平28(17)		平28(14)		平22 460人 平28 437人
太閤山小学校 平16,17 32,817㎡	有			平22(17) 平28(16)		平28(13)		平22 537人 平28 451人
中太閤山小学校 昭51,52,54 23,415㎡	有			平22(13) 平28(12)				平22 404人 平28 366人
大門小学校 平16,17 30,591㎡	有					平22(26) 平28(26)	平28(24)	平22 845人 平28 790人
下村小学校 昭45,54 10,863㎡	一部校舎有 体育館 無		平22(6) 平28(6)					平22 125人 平28 91人
大島小学校 昭29,30,51,57 23,347㎡	一部校舎有 体育館 有				平22(20) 平28(22)		平28(21)	平22 705人 平28 671人

市内中学校学校規模の推移見込み(平22と平28と平34比較)

中 学 校

35人学級の場合(23年度以降)

平成22年5月1日現在

学校名 建設年度 校地面積	耐震性の 有無	学校規模の推移						生徒数の推移 (平22・平28・ 平34)
		過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	
				適正規模				
1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上			
奈古中学校 昭48,49 38,292m ²	一部校舎有 体育館 無 武道館 有	平34(5)←	平22(6) 平28(6)					平22 191人 平28 179人 平34 128人
新湊西部中学校 昭61,62 21,912m ²	有 H34(4)	平34(5)←	平22(6) 平28(6)	平28(4)				平22 159人 平28 119人 平34 109人
新湊南部中学校 平19,20 31,185m ²	有		平22(8) 平28(8) 平34(8)	平28(6) 平34(6)				平22 244人 平28 218人 平34 218人
射北中学校 昭52,53 21,939m ²	校舎 無 体育館 有 武道館 有		平34(11)←	平22(12) 平28(13)	平28(12)			平22 447人 平28 412人 平34 369人
小杉中学校 昭53,54 33,580m ²	校舎 無 体育館 有				平22(19) 平28(22) 平34(20)	平28(19) 平34(18)		平22 649人 平28 718人 平34 630人
小杉南中学校 昭57,58,61 32,146m ²	有		平22(11)→	平28(13) 平34(12)	平28(12) 平34(9)			平22 363人 平28 412人 平34 330人
大門中学校 昭46,47,59,63 58,622m ²	一部校舎有 体育館 有			平22(18) 平28(19)	平28(25) 平34(21)	平28(22)		平22 654人 平28 802人 平34 699人

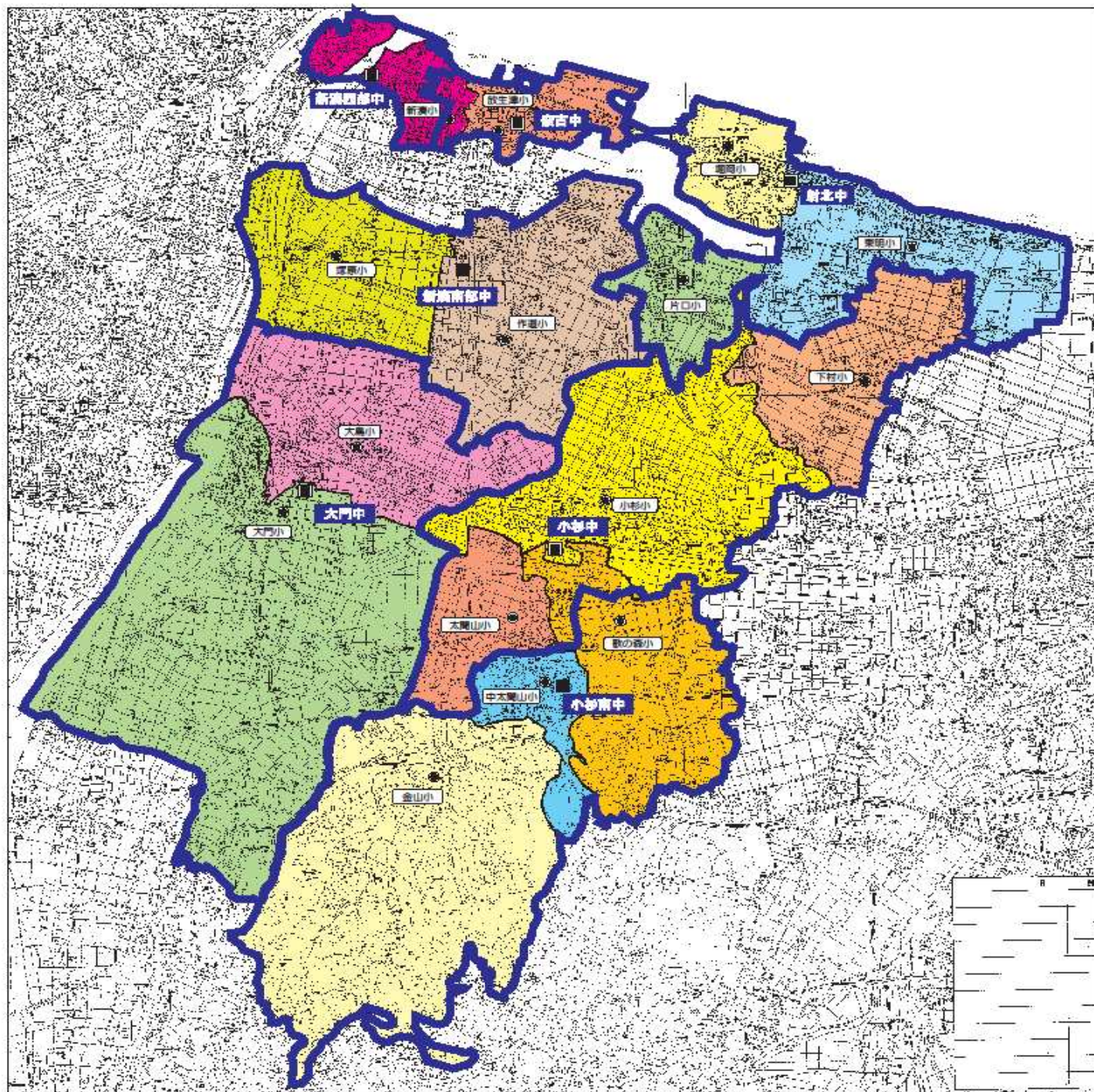
学校規模の分類については、文部省助成課資料(昭和59年作成)「これからの学校施設づくり」資料による。

学級数は1学級35人以下で算出。()内の数は、普通学級数

平成23年度以降の学級数(見込み)は、射水市住民基本台帳のデータの生徒数(見込み)から算出。

□ は40人学級の場合

射水市小中学校区



平成22年4月1日現在
(教育総務課作成)

資料 9

小中学校の校区の大きさ

小学校

	方角	距離	方角	距離
放生津小学校	東-西	2.0km	南-北	1.3km
新湊小学校	北東-南西	1.0km	北西-南東	2.4km
作道小学校	北東-南西	4.8km	北西-南東	3.2km
片口小学校	東-西	2.4km	南-北	3.0km
堀岡小学校	東-西	2.7km	南-北	1.6km
東明小学校	東-西	4.2km	南-北	2.5km
塚原小学校	東-西	2.9km	南-北	2.4km
小杉小学校	北東-南西	4.5km	北西-南東	3.9km
金山小学校	東-西	3.8km	南-北	4.5km
歌の森小学校	東-西	2.1km	南-北	4.1km
太閤山小学校	東-西	2.0km	南-北	3.0km
中太閤山小学校	東-西	1.7km	南-北	2.9km
大門小学校	東-西	4.2km	南-北	7.3km
下村小学校	北東-南西	3.7km	北西-南東	2.1km
大島小学校	北東-南西	2.9km	北西-南東	4.5km

中学校

	方角	距離	方角	距離
奈古中学校	東-西	2.6km	南-北	0.9km
新湊西部中学校	東-西	1.8km	南-北	1.1km
新湊南部中学校	東-西	5.8km	南-北	3.6km
射北中学校	東-西	6.2km	北西-東南	3.5km
小杉中学校	北東-南西	13.5km	北西-東南	3.6km
小杉南中学校	北東-南西	8.7km	北西-東南	3.0km
大門中学校	東-西	4.2km	北東-南西	8.4km

児童の通学方法

小学校

単位:人(平成22年6月1日現在)

学校名	期間	児童数	徒歩	スクールバス	公共交通機関	保護者借上げバス	その他	備考
放生津小学校	通常	277	274	0	3 (万葉線)	0	0	海王町の児童3人が万葉線を利用。登校時のみ1人、下校時のみ1人、時々1人。
	冬季		274	0	3 (万葉線)	0	0	海王町の児童3人が万葉線を利用。その時々によって利用。
新湊小学校	通常	341	301	0	40 (万葉線)	0	0	庄西地区の児童40人が万葉線を利用。
	冬季		301	0	40 (万葉線)	0	0	庄西地区の児童40人が万葉線を利用。
作道小学校	通常	278	278	0	0	0	0	
	冬季		278	0	0	0	0	
片口小学校	通常	304	304	0	0	0	0	
	冬季		304	0	0	0	0	
堀岡小学校	通常	147	144	0	0	0	3 (自家用車)	区域外通学の児童3人が家族による自家用車での送迎。
	冬季		144	0	0	0	3 (自家用車)	区域外通学の児童3人が家族による自家用車での送迎。
東明小学校	通常	405	246	159	0	0	0	本江地区と七美地区の児童と、海老江地区内の浜開・浜開新の児童(1～3年生)がスクールバスを登下校に利用。
	冬季		232	173	0	0	0	冬季間(11月～3月)のみ、通常期に加え、浜開・浜開新の児童(4～6年生)もスクールバスを登下校に利用。

学校名	期間	児童数	徒歩	スクールバス	公共交通機関	保護者借上げバス	その他	備考
塚原小学校	通常	164	163	0	1 (コミュニティバス)	0	0	区域外通学の児童1人がコミュニティバスを利用。
	冬季		163	0	1 (コミュニティバス)	0	0	区域外通学の児童1人がコミュニティバスを利用。
小杉小学校	通常	614	516	98	0	0	0	スクールバスの利用は、地域や地区で決めている。バスの有効活用のため、乗車可能学年を年度初めに見直す。
	冬季		516	98	0	0	0	スクールバスの利用は、地域や地区で決めている。バスの有効活用のため、乗車可能学年を年度初めに見直す。
金山小学校	通常	77	77	0	0	0	0	
	冬季		44	0	33 (コミュニティバス)	0	0	浄土寺、野手地区の児童33人がコミュニティバスを利用。
歌の森小学校	通常	460	372	0	84 (路線バス)	0	4 (自家用車)	池多地区の児童84人が路線バスを利用。区域外通学の児童2人、肢体不自由の児童2人が家族による自家用車での送迎。
	冬季		372	0	84 (路線バス)	0	4 (自家用車)	池多地区の児童84人が路線バスを利用。区域外通学の児童2人、肢体不自由の児童2人が家族による自家用車での送迎。
太閤山小学校	通常	536	536	0	0	0	0	
	冬季		536	0	0	0	0	
中太閤山小学校	通常	404	402	0	0	0	2 (自家用車)	区域外通学の児童2人が家族による自家用車での送迎。
	冬季		402	0	0	0	2 (自家用車)	区域外通学の児童2人が家族による自家用車での送迎。

学校名	期間	児童数	徒歩	スクールバス	公共交通機関	保護者借上げバス	その他	備考
大門 小学校	通常	845	534	251	60 (路線バス)	0	0	浅井、櫛田地区の児童251人がスクールバスを利用。 水戸田、枇杷首地区の児童60人が路線バスを利用。
	冬季		534	251	60 (路線バス)	0	0	浅井、櫛田地区の児童251人がスクールバスを利用。 水戸田、枇杷首地区の児童60人が路線バスを利用。
下村 小学校	通常	125	125	0	0	0	0	
	冬季		125	0	0	0	0	
大島 小学校	通常	705	703	0	0	0	2 (自家用車)	2 区域外通学の児童2人が家族による自家用車での送迎。
	冬季		703	0	0	0	2 (自家用車)	2 区域外通学の児童2人が家族による自家用車での送迎。
計	通常	5682	4975	508	188	0	11	
	冬季		4928	522	221	0	11	

生徒の通学方法

中学校

単位：人(平成22年6月1日現在)

学校名	期間	生徒数	徒歩	自転車	公共交通機関	保護者借上げバス	その他	備考
奈古中学校	通常	191	184	7	0	0	0	越の湯地区の生徒7人が自転車通学。 学校から2.5km以上離れた場所に居住する生徒。
	冬季		191	0	0	0	0	
新湊西部中学校	通常	160	159	1	0	0	0	学校から2km以上離れた場所に居住する生徒。
	冬季		159	0	0	0	1 (自家用車)	学校から2km以上離れた場所に居住する生徒1人が家族による自家用車での送迎。 降雪、凍結時は自転車通学禁止。
新湊南部中学校	通常	244	0	244	0	0	0	生徒全員に自転車通学許可書を提出させ、自転車通学を認めている。学校に近い生徒は、徒歩で通学する場合もある。
	冬季		120	0	40 (コミュニティバス)	0	80 (自家用車)	降雪時は自転車通学を禁止。
射北中学校	通常	447	98	349	0	0	0	原則1.5km以上だが、住所で自転車通学生を決定する。
	冬季		110	0	10	300 (自家用車)	27	公共交通機関の利用は保護者の判断。 保護者借上げバスの利用は希望者。
小杉中学校	通常	649	436	213	0	0	0	学校から2km以上離れた場所に居住する生徒。
	冬季		530	0	119	0	0	下村、大江方面の生徒が公共交通機関を利用。

学校名	期間	生徒数	徒歩	自転車	公共交通機関	保護者借上げバス	その他	備考
小杉南中学校	通常	363	201	162	0	0	0	金山小学校区生徒、歌の森小学校区生徒及び区域外通学生徒が自転車で通学。
	冬季		335	0	28	0	0	公共交通機関利用の条件は特になし。
大門中学校	通常	653	361	292	0	0	0	学校から2km以上離れた場所に居住する生徒。
	冬季		612	0	41	0	0	積雪のため自転車利用不可のとき、原則全員徒歩通学。公共交通機関の利用条件は特になく、保護者の判断に任せている。
計	通常	2707	1439	1268	0	0	0	
	冬季		2057	0	238	300	108	

小中学校の施設整備状況

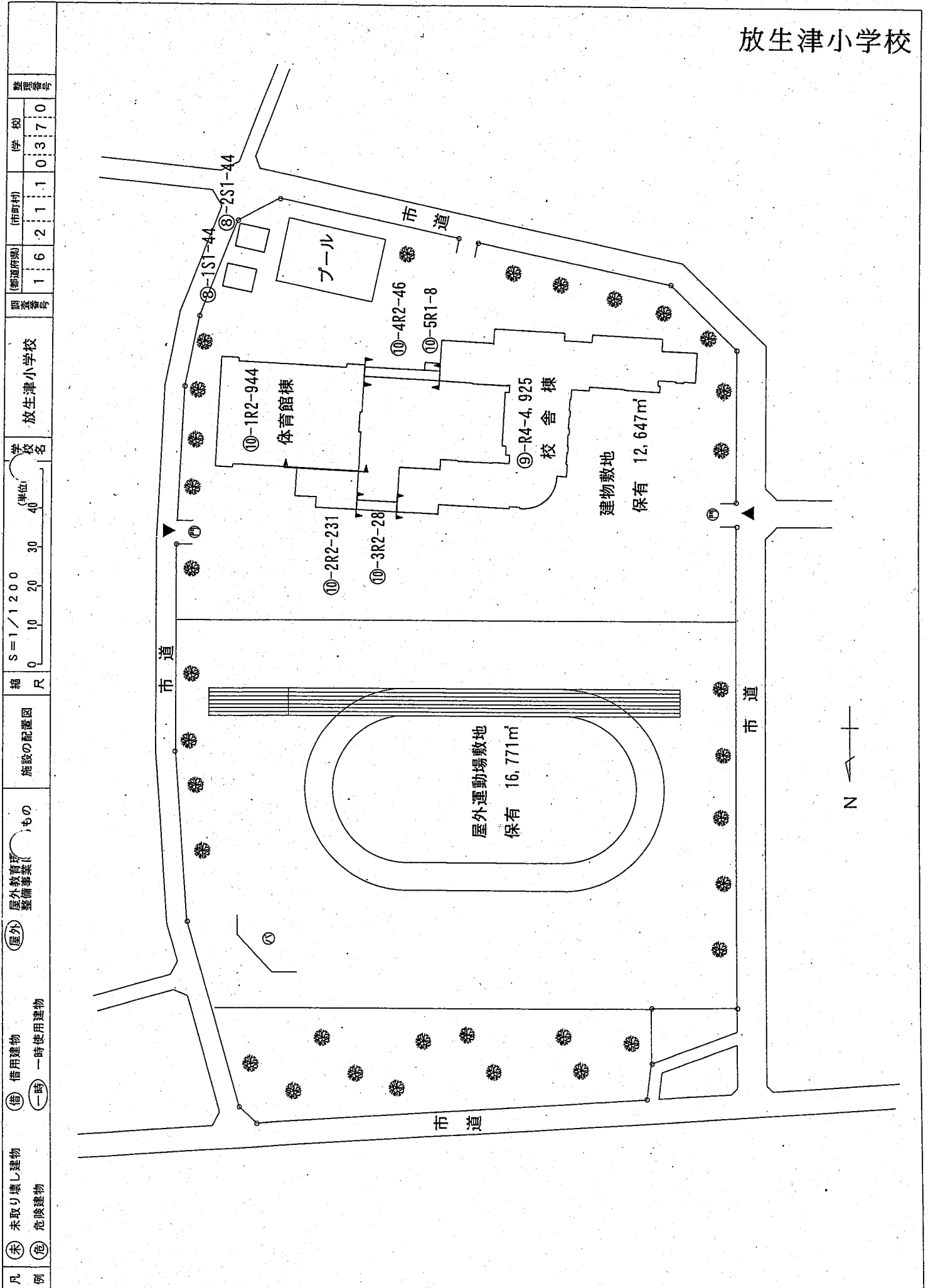
平成22年5月1日現在
(単位:㎡)

資料 1 1 小中学校の施設整備状況

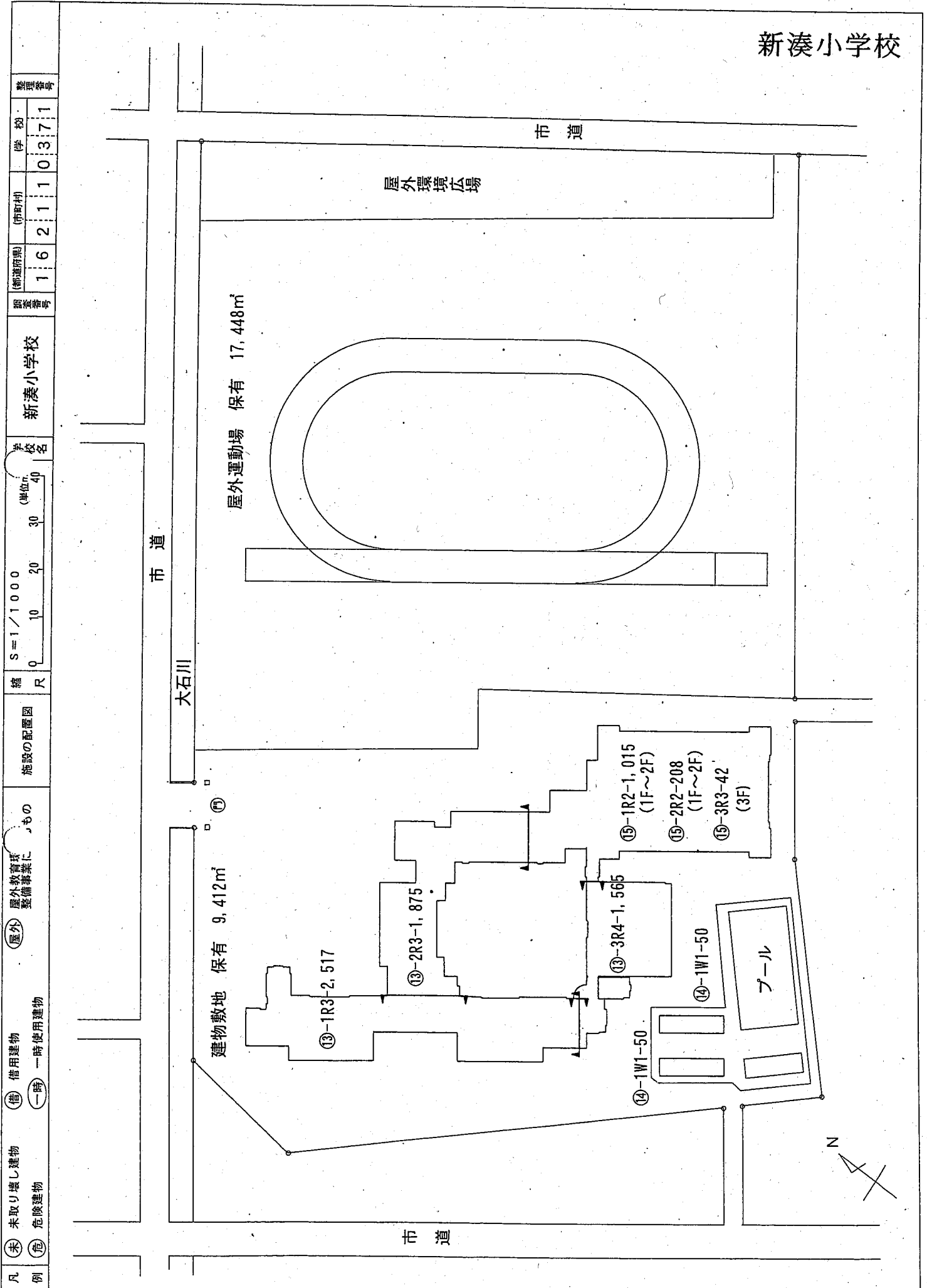
区 分	校 地 面 積				校 舎					屋 内 運 動 場				
	建物敷地	運動場	借 地	計	建設年度	保 有 面 積				建設年度	保 有 面 積			
						鉄筋	鉄骨	木造	計		鉄筋	鉄骨	木造	計
小 学 校	放生津小学校	12,647	16,771		29,418	昭63、平1	5,007			5,007	平2	1,175		1,175
	新湊小学校	9,412	17,448		26,860	平2、3	5,957		5,957	平4	1,265		1,265	
	作道小学校	8,059	18,613		26,672	昭56	4,134		4,134	昭57	854		854	
	片口小学校	11,272	10,512		21,784	昭59、平6、7、11、21	3,978	83		4,061	昭54、平21	1,340	599	1,939
	堀岡小学校	11,600	15,660		27,260	平13、14	3,551		3,551	平15	1,225		1,225	
	東明小学校	17,717	11,532		29,249	昭47、48	4,788		4,788	平21	1,311		1,311	
	塚原小学校	6,277	11,698		17,975	昭54、55、56	4,149		4,149	昭56		741	741	
	小杉小学校	14,364	18,675		33,039	昭45、46、47	6,927		6,927	昭46、47	1,254		1,254	
	金山小学校	5,358	9,165	79	14,602	昭49、50、平8	2,147		2,147	平8	830		830	
	歌の森小学校	13,344	10,396		23,740	昭56、57、58、平13、17	4,769		4,769	昭57		1,061	1,061	
	太閤山小学校	15,611	17,206		32,817	平16、17	7,309		7,309	平16、17	1,648		1,648	
	中太閤山小学校	12,043	11,372		23,415	昭51、52、54	6,887		6,887	昭52		1,240	1,240	
	大門小学校	17,940	12,651		30,591	平16、17	8,867		8,867	平16、17	1,295		1,295	
	下村小学校	3,797	7,066		10,863	昭45、54	1,817	445		2,262	昭39		498	498
大島小学校	14,347	9,000		23,347	昭29、30、51、57	6,097	266		6,363	平7、8	1,993	607	2,600	
計(小学校)	173,788	197,765	79	371,632		76,384	794	0	77,178		14,190	4,746	18,936	

区 分	校 地 面 積				校 舎					屋 内 運 動 場 (武 道 場 含 む)				
	建物敷地	運動場	借 地	計	建設年度	保 有 面 積				建設年度	保 有 面 積			
						鉄筋	鉄骨	木造	計		鉄筋	鉄骨	木造	計
中 学 校	奈古中学校	19,605	18,687		38,292	昭49、50	6,508	333		6,841	昭50		1,845	1,845
	新湊西部中学校	11,036	10,876		21,912	昭61、62	4,075		4,075	昭58	1,207		517	1,724
	新湊南部中学校	19,020	12,165		31,185	平19、20	5,586		5,586	平19、20	1,308		615	1,923
	射北中学校	11,890	10,049		21,939	昭52、53	5,967		5,967	昭52	2,108			2,108
	小杉中学校	10,579	15,993	7,008	33,580	昭53、54	8,347		8,347	平10、11	3,337			3,337
	小杉南中学校	16,949	15,197		32,146	昭57、58、61	6,618		6,618	昭58	576	1,426		2,002
	大門中学校	16,530	42,092		58,622	昭46、47、59、63	7,195	898		8,093	昭48		2,099	2,099
計(中学校)	105,609	125,059	7,008	237,676		44,296	1,231		45,527		8,536	5,370	15,038	

放生津小学校

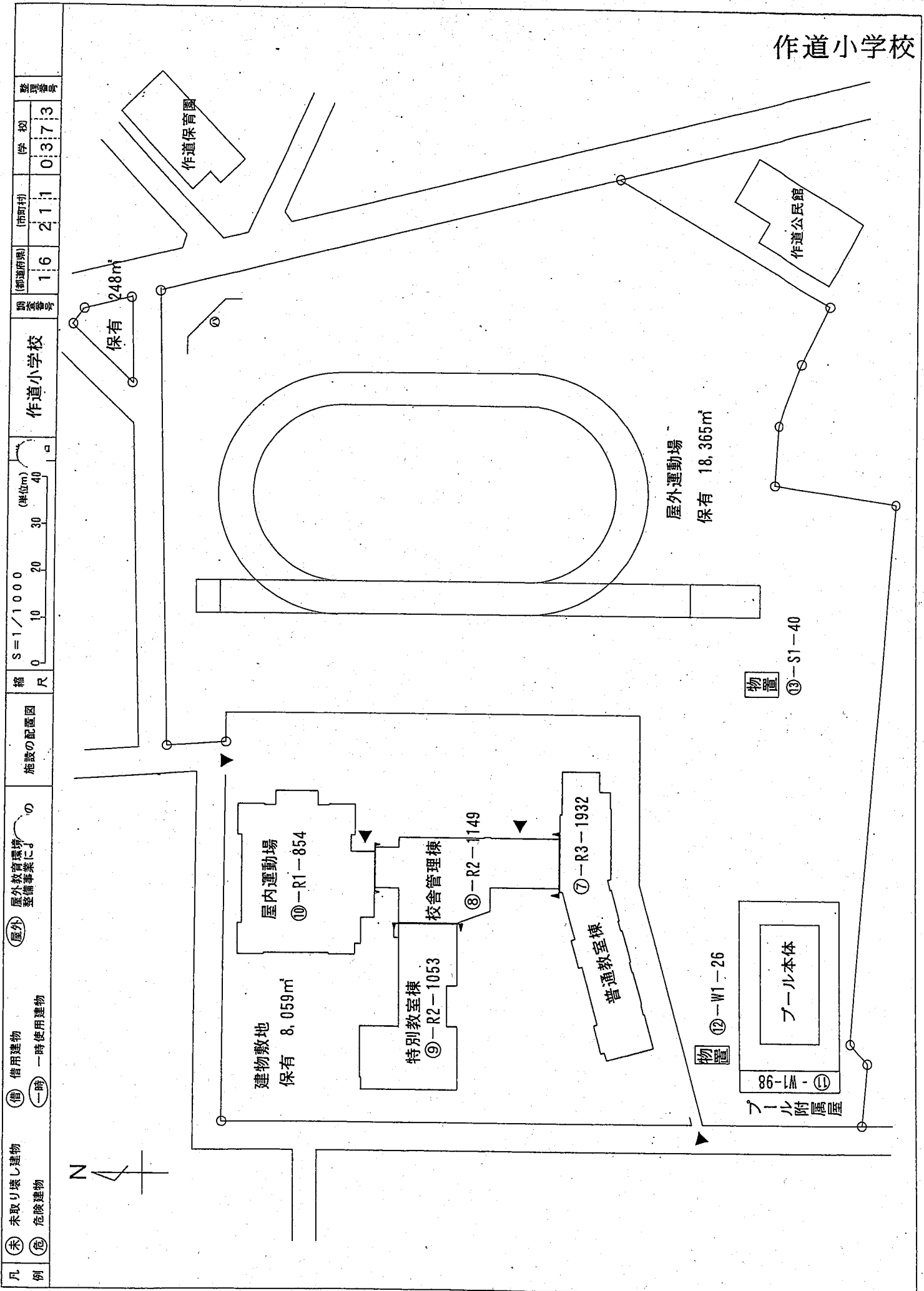


凡例	未取り壊し建物	借用建物	屋外教育準備事業のもの	施設の配置図	縮尺	S=1/1200	単位	校名	放生津小学校	調査番号	16	(市町村)	110370	学号	70	整理番号
	危険建物	一時使用建物			R	0 10 20 30 40	(単位)	校名	放生津小学校	調査番号	16	(市町村)	110370	学号	70	整理番号

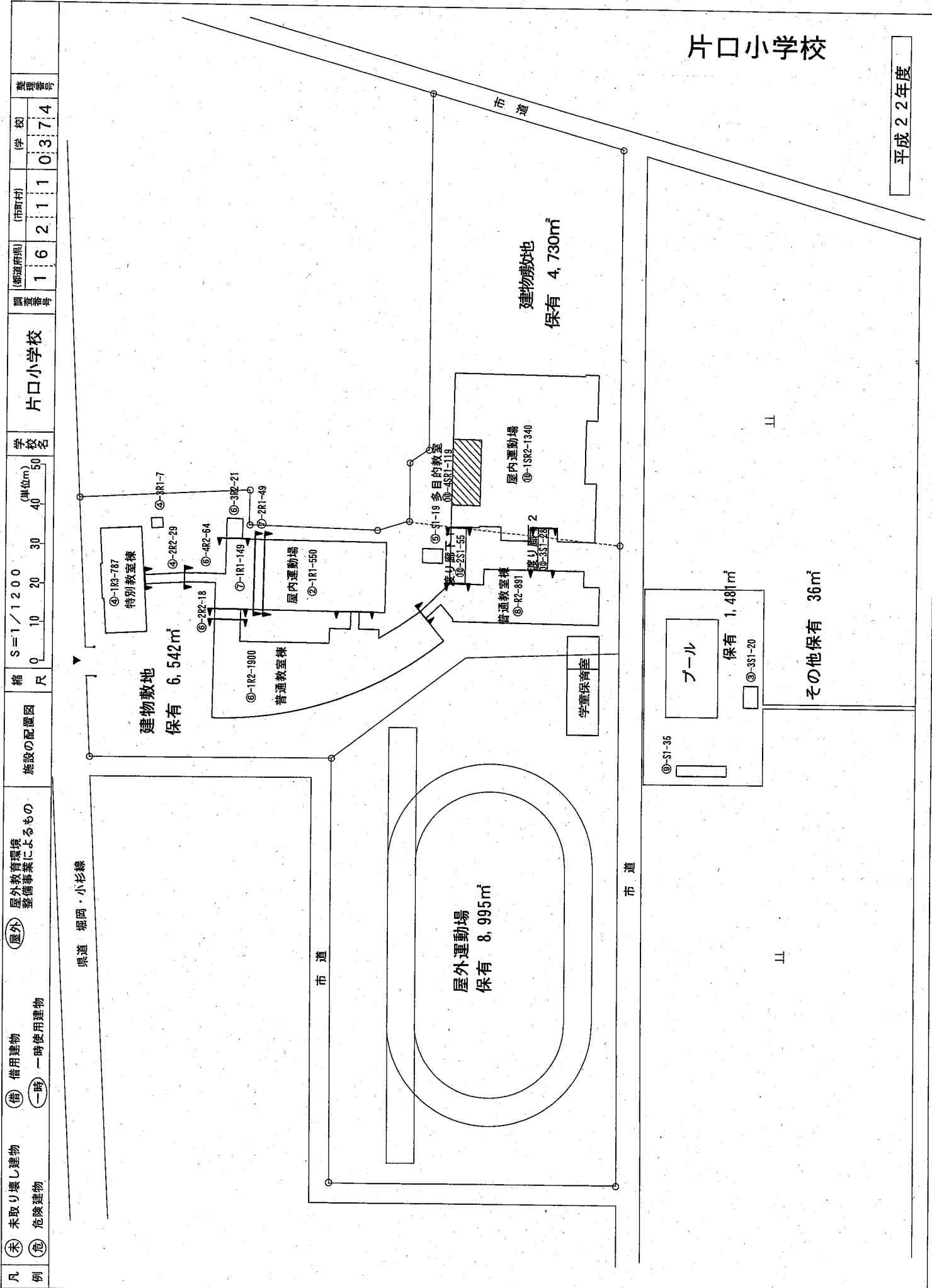


凡例	未取り壊し建物	借用建物	屋外教育環境整備事業に供のもの	施設の配置図	縮尺	S=1/1000	単位m	校名	新湊小学校	児童数	162	(市町村)	110371	学校	110371	整理番号
----	---------	------	-----------------	--------	----	----------	-----	----	-------	-----	-----	-------	--------	----	--------	------

作道小学校



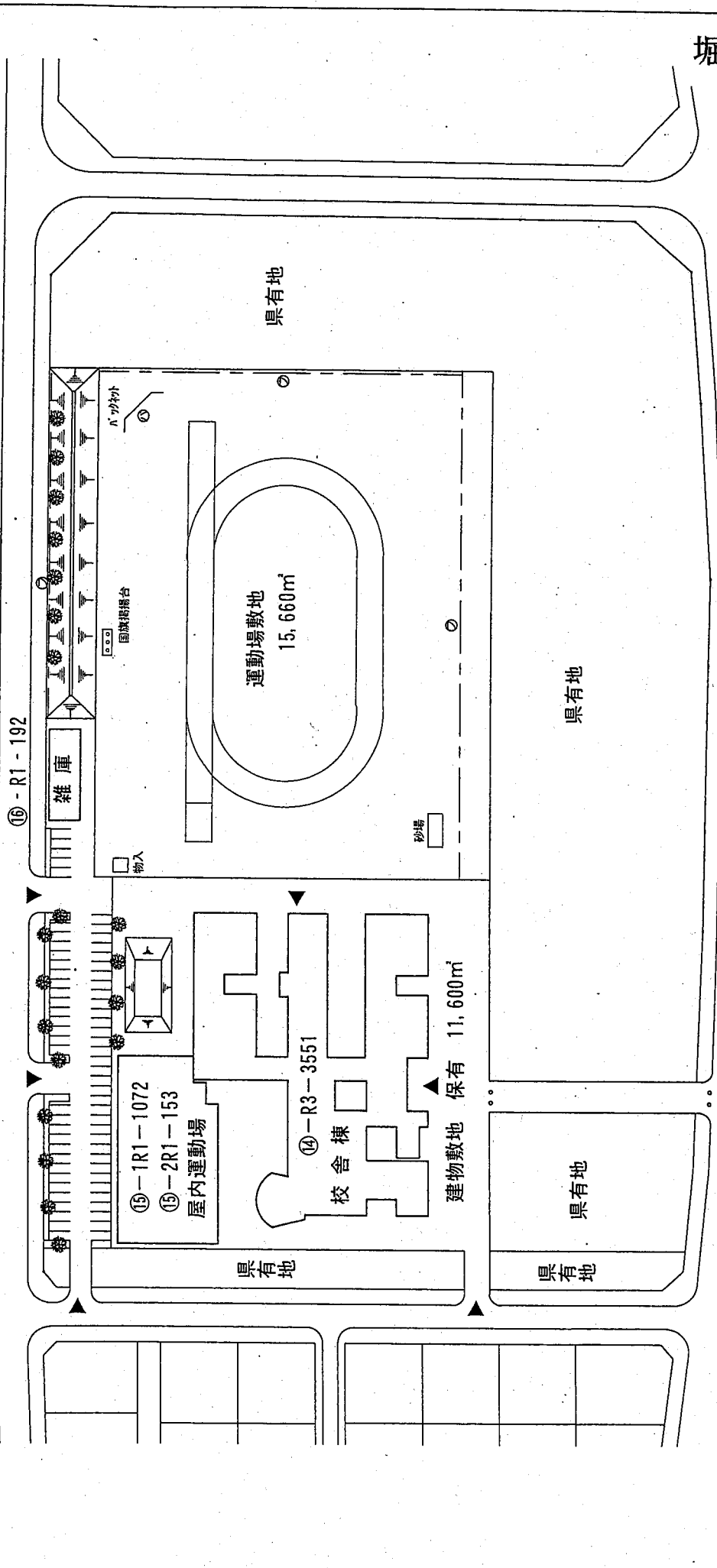
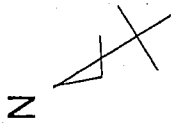
凡例	未 未 取 取 り り 壊 壊 し し 建 建 物 物	危 危 険 険 建 建 物 物	借 借 用 用 建 建 物 物	一 一 時 時 一 一 時 時 使 使 用 用 建 建 物 物	屋 屋 外 外 教 教 育 育 環 環 境 境 に に の の 基 基 礎 礎 的 的 に に 備 備 え え ら ら れ 	施設 施設 の の 配 配 置 置 図 図	縮 縮 尺 尺	S=1/1000 0 10 20 30 40 (単位:m)	作道小学校	調 調 査 査 番 番 号 号	(都 都 道 道 府 府 県 県)	市 市 町 町 村 村	学 学 校 校	整 整 理 理 番 番 号 号
							R			16	211	0373		



片口小学校

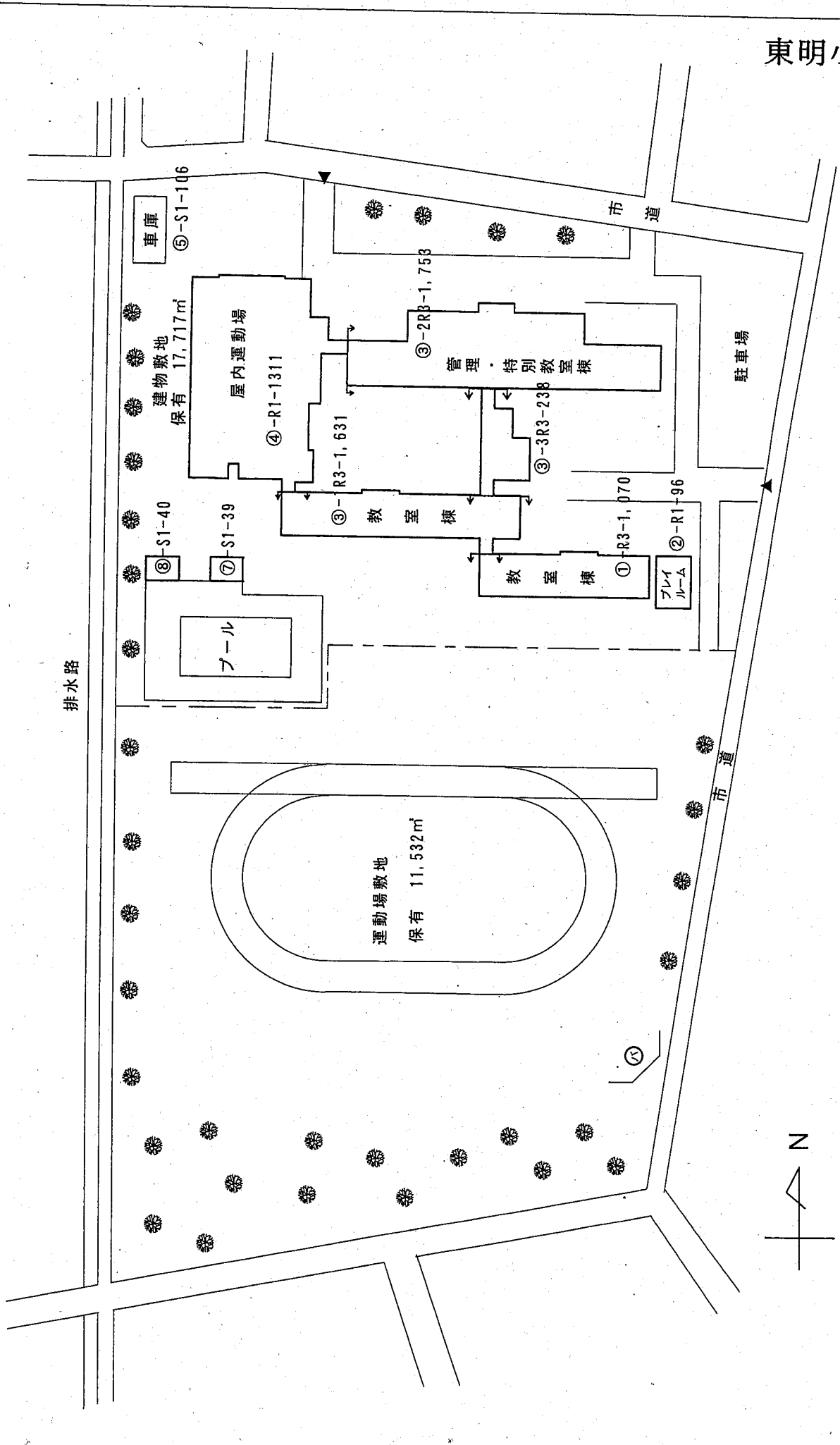
平成22年度

凡例	(未) 未取り壊し建物	(借) 借用建物	(屋外) 屋外教育環境整備事業に	施設の配置図	縮尺	S = 1/1500	(単位) m	校名	堀岡小学校	頭番	番	町	市	校	校	校		
	(色) 危険建物	(一時) 一時使用建物	もの		0 10 20 30 40 50					1	6	2	1	1	0	3	7	5

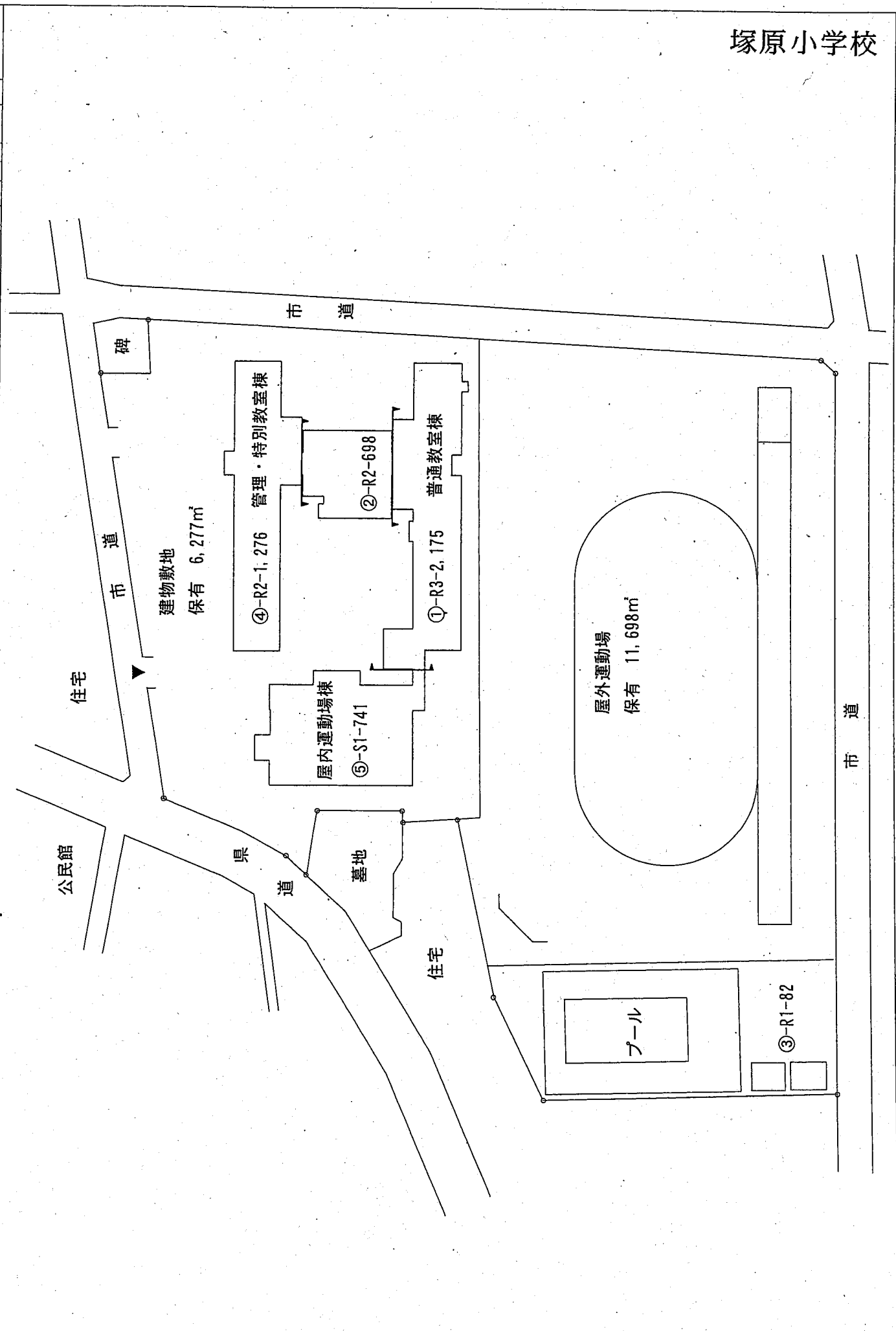


東明小学校

凡例	未	未取り壊し建物	借	借用建物	屋外	屋外教育環境整備事業によるもの	施設の配置図	縮尺	S = 1/1200	0	10	20	30	40	50	学校名	東明小学校	調査番号	16211380	(市町村)	(学校)	整理番号
	危	危険建物	一時	一時使用建物																		



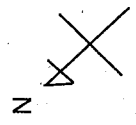
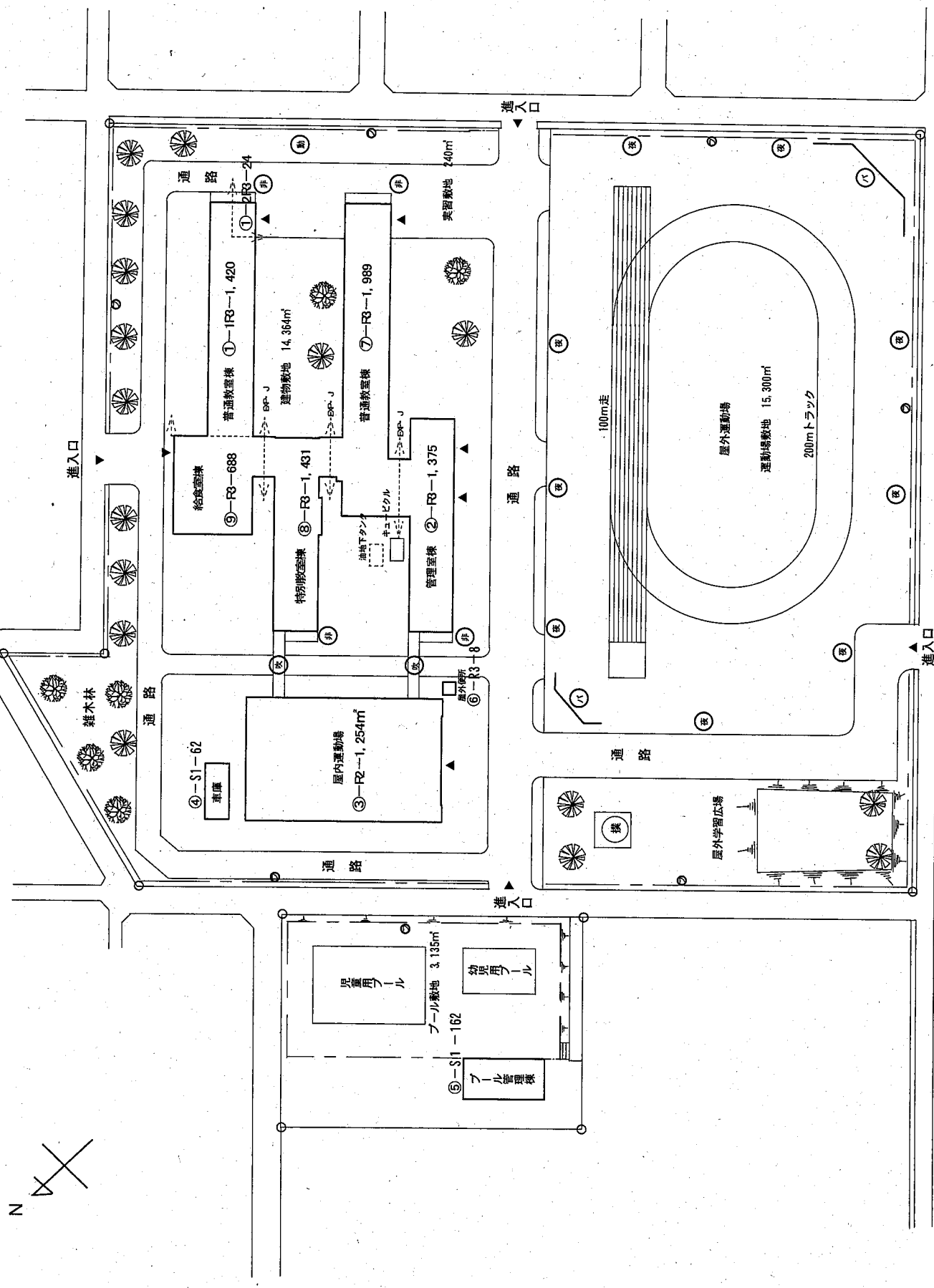
凡例	未 未取り壊し建物	借 借用建物	借 一時使用建物	屋外 屋外教育環境整備事業に」の	施設の配置図	縮尺	S = 1 / 1000 (単位m)	0 10 20 30 40	塚原小学校	調査番号	1 6 2 1 1 0 3 7 9	整理番号
----	--------------	-----------	-------------	---------------------	--------	----	-----------------------	---------------	-------	------	-------------------	------



小杉小学校

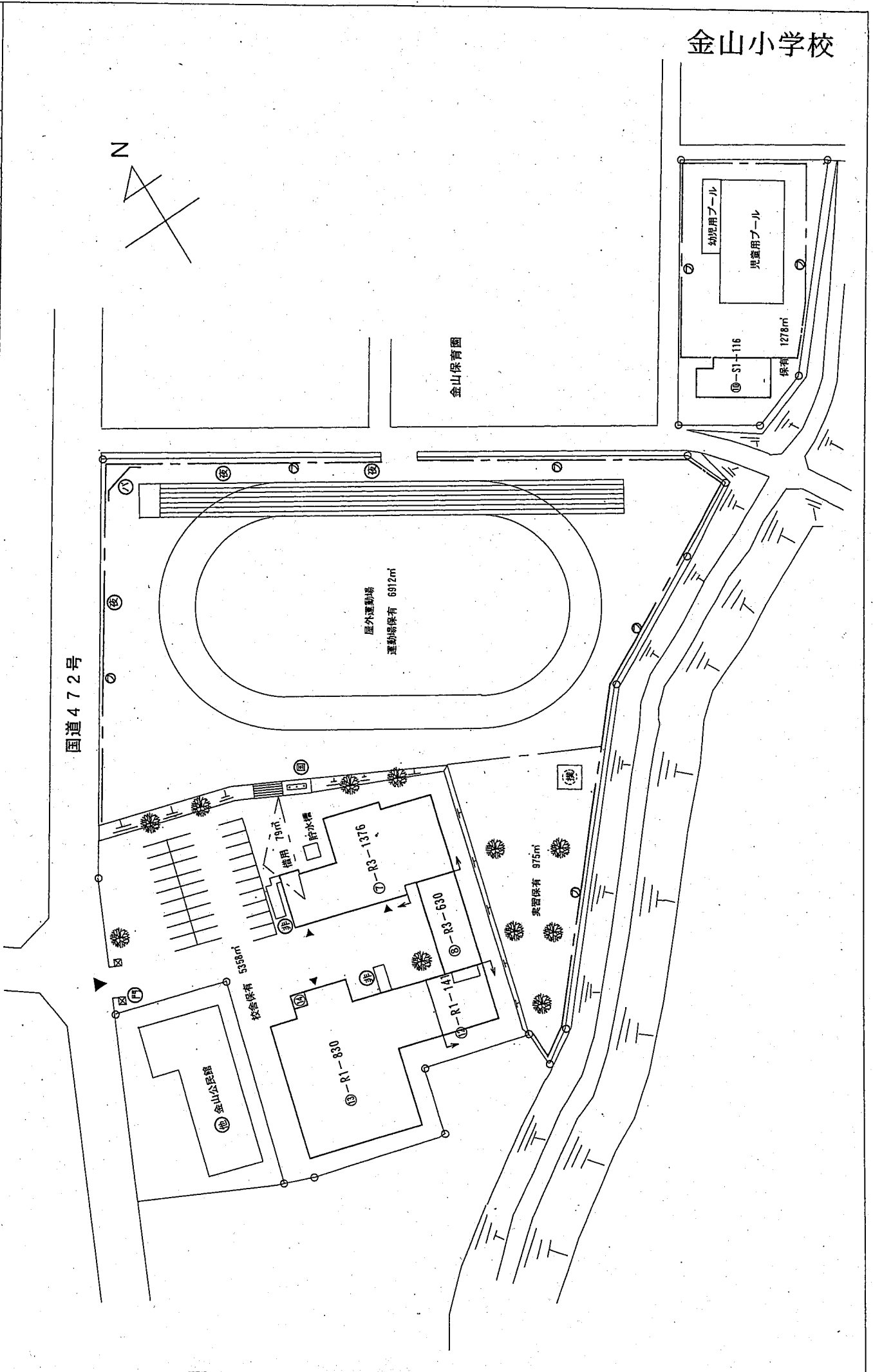
平成22年度

縮尺	S=1/1200				学校名	都道府県	(市町村)	(学 校)	整理番号
	0	10	20	30					
施設の配置図		小杉小学校			1	6	211	0300	0
調査番号		小杉小学校							

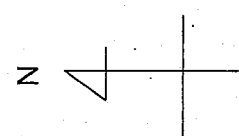
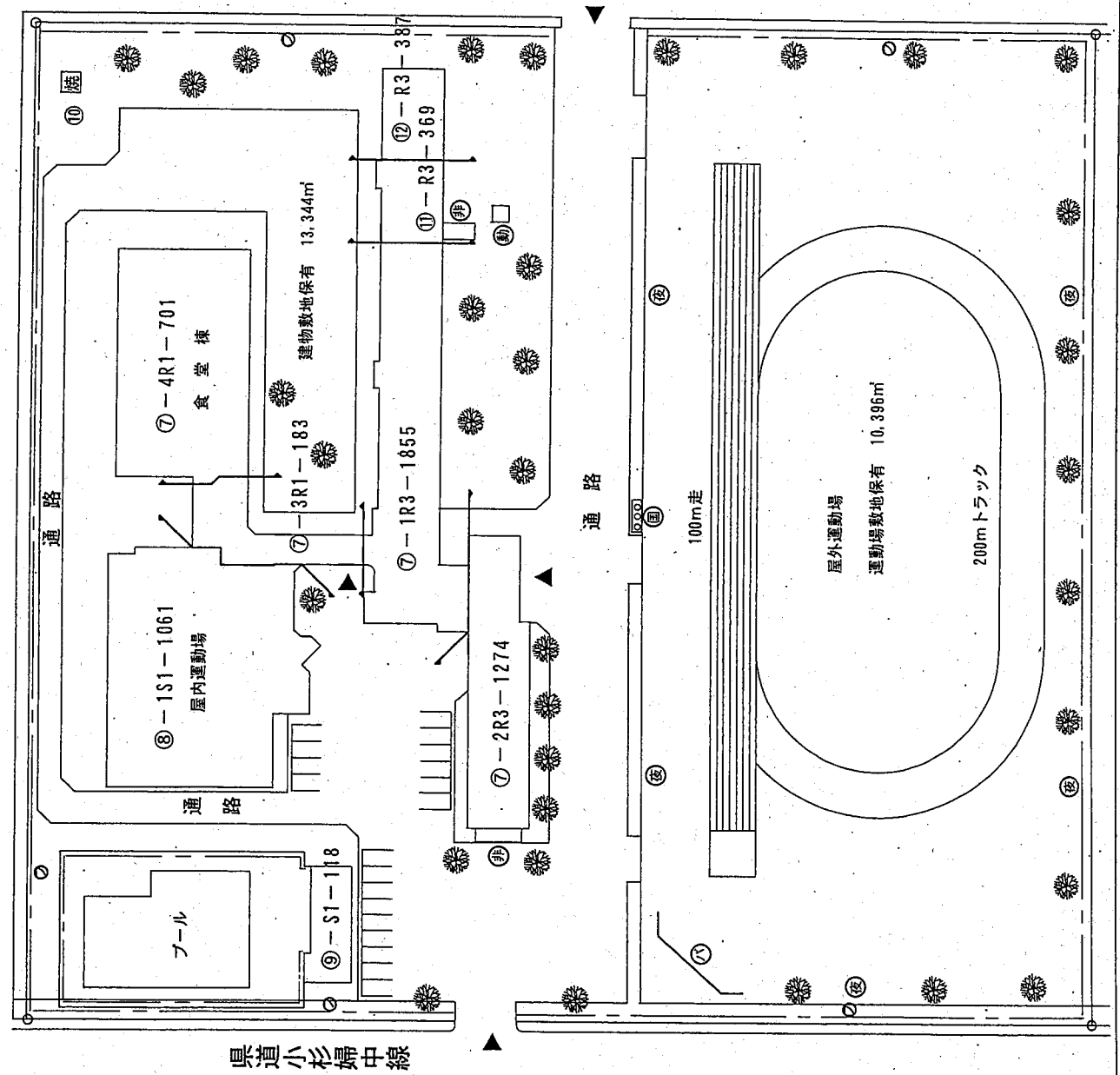


金山小学校

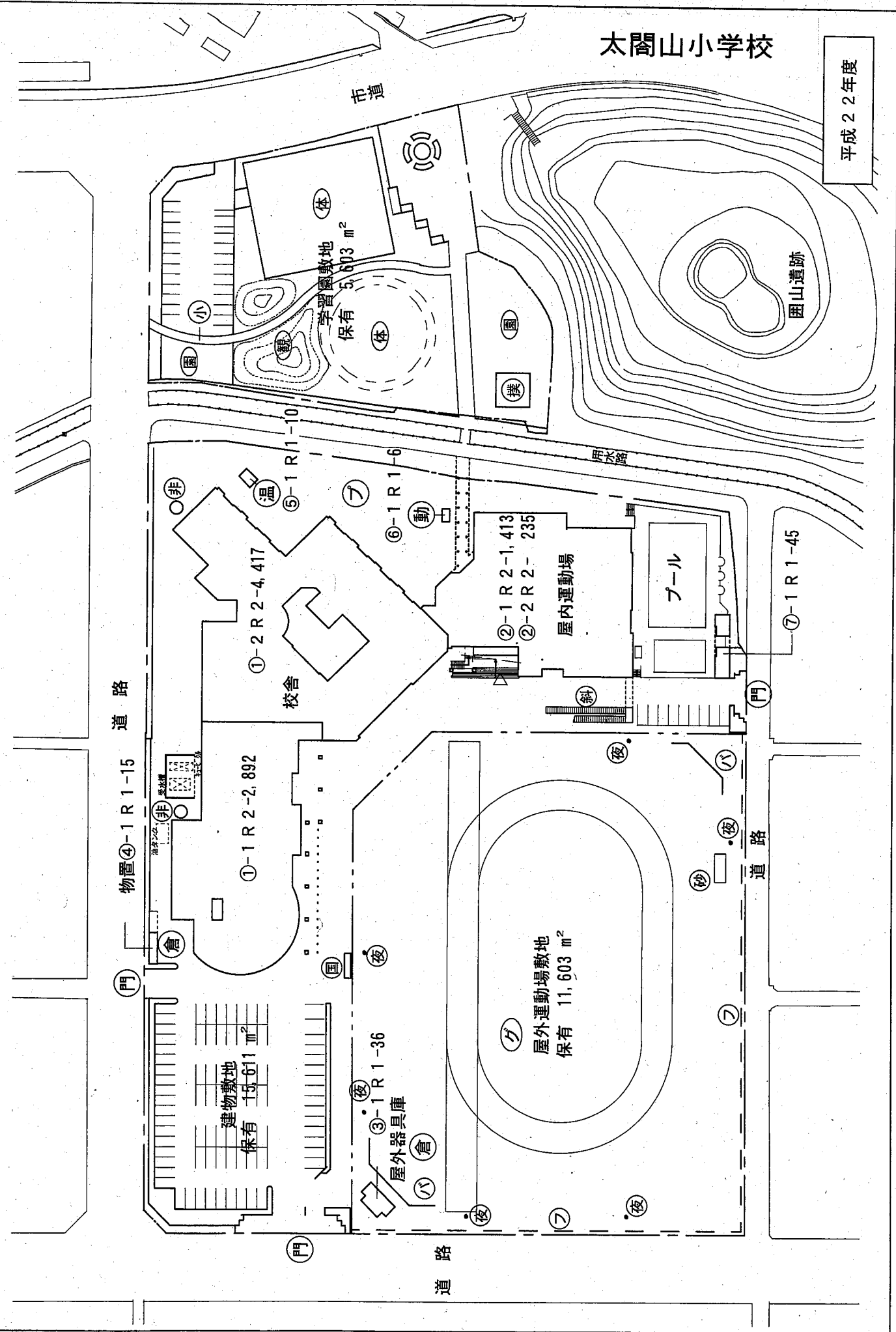
縮尺	S=1/1,000		0 10 20 30 40 m	
	施設の配置図			
学校名 金山小学校				
調査番号	都道府県	(市町村)	(学 校)	整理番号
1	6	2 1 1	0 3 0 2	2



縮尺	S = 1/1000		学校名	歌の森小学校	調査番号	都道府県	(市町村)	(学 校)	整理番号					
	0	10								20	30	40	m	1

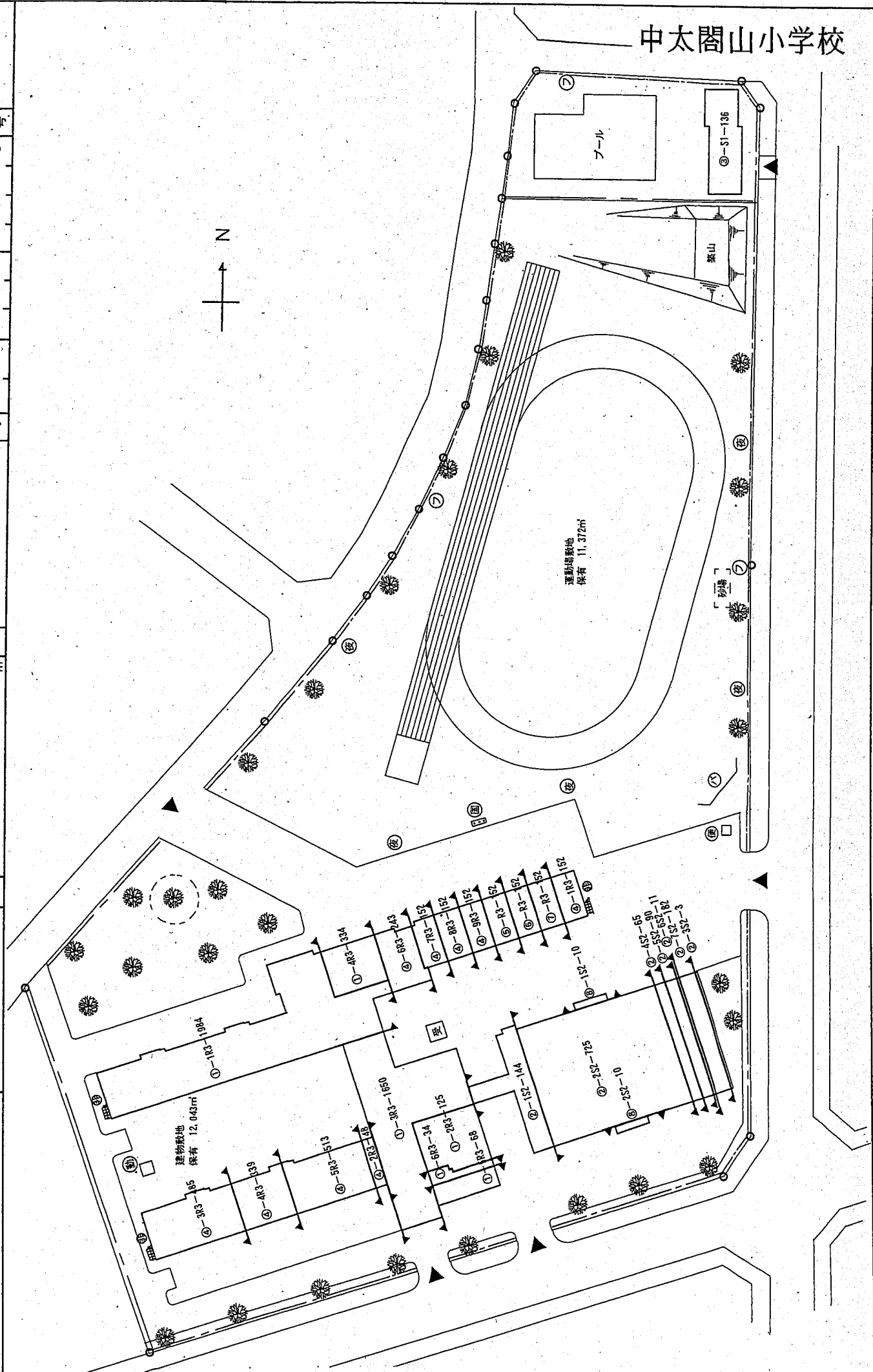


凡例	未 色	未取り壊し建物 危険建物	借 一時	借用建物 一時使用建物	屋外 整備	屋外教育環境 整備事業によるもの	施設の配置図	縮尺	S = 1/1200 0 10 20 30 40 50 (単位:m)	学校名	太閤山小学校	調査番号	16	(市町村)	211	(学税)	307	整理番号
----	--------	-----------------	---------	----------------	----------	---------------------	--------	----	--	-----	--------	------	----	-------	-----	------	-----	------



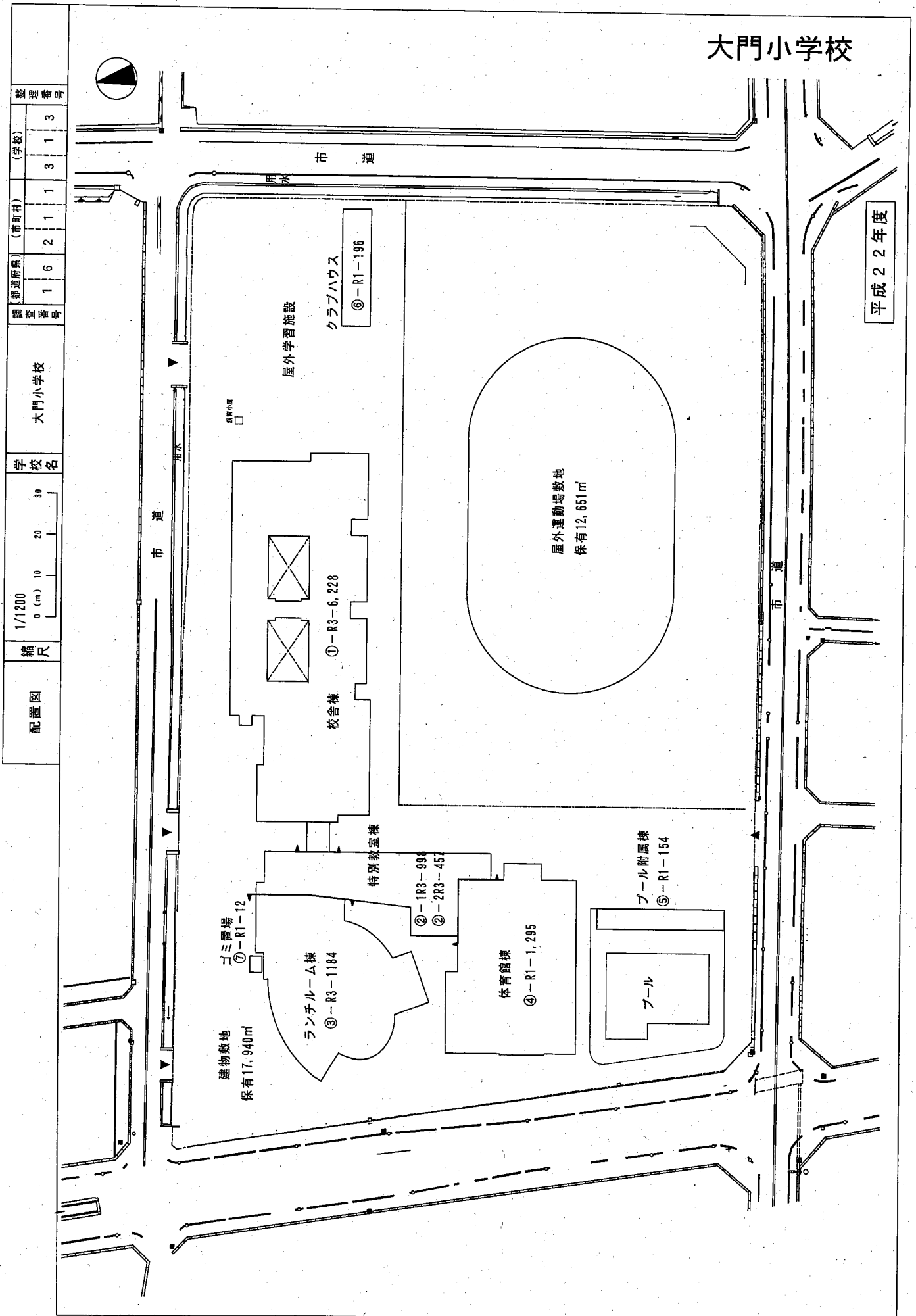
平成22年度

施設の配置図	縮尺	S = 1/1000	学校名		調査番号	都道府県	(市町村)	(学 校)	整理番号
			中太閤山小学校	116					



大門小学校

平成22年度

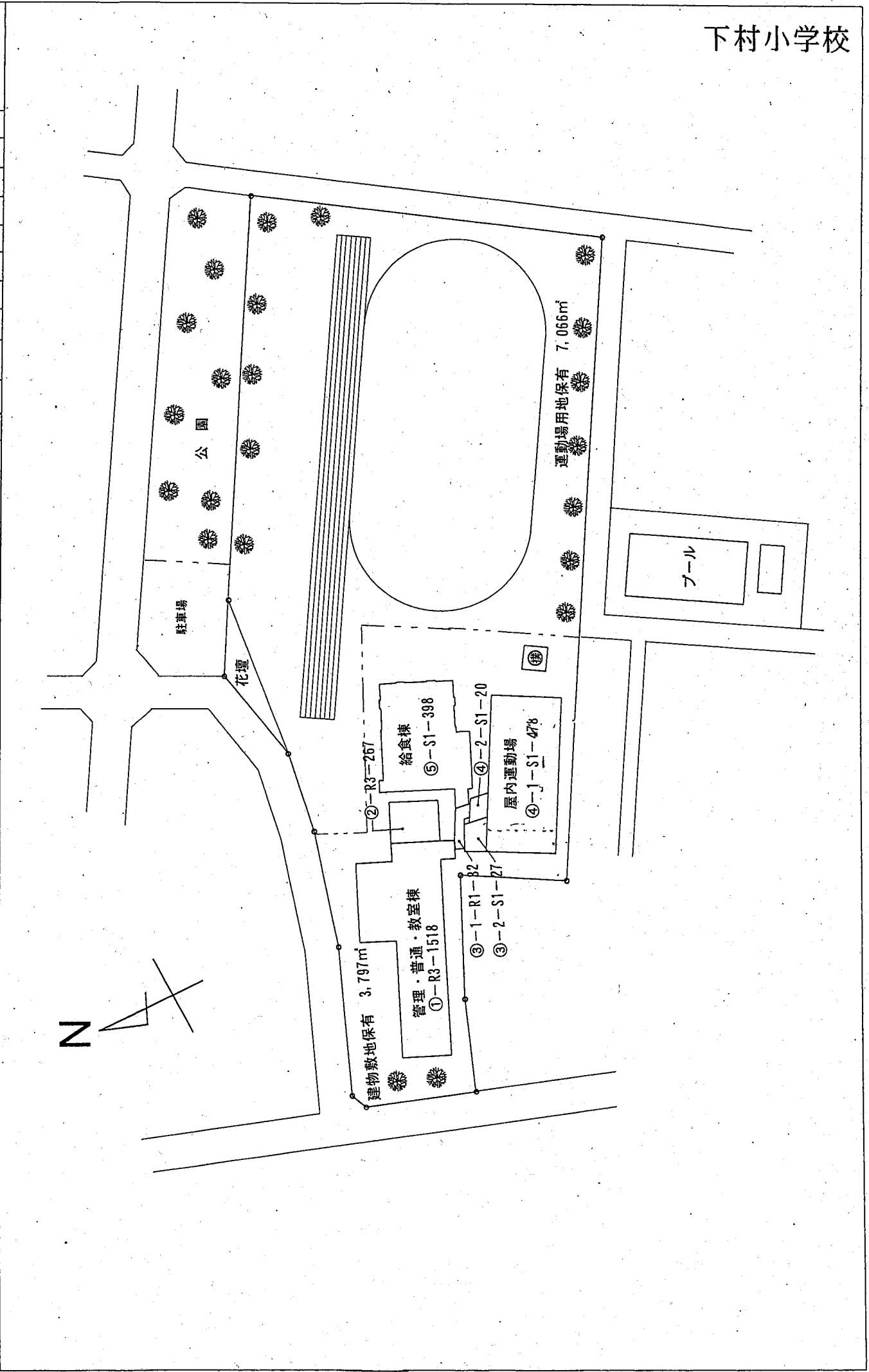


配置図
縮尺
1/1200
0 (m) 10 20 30

学校名
大門小学校

調査番号	1	6	2	1	1	3	1	3
(市町村)								
(学校)								
整理番号								

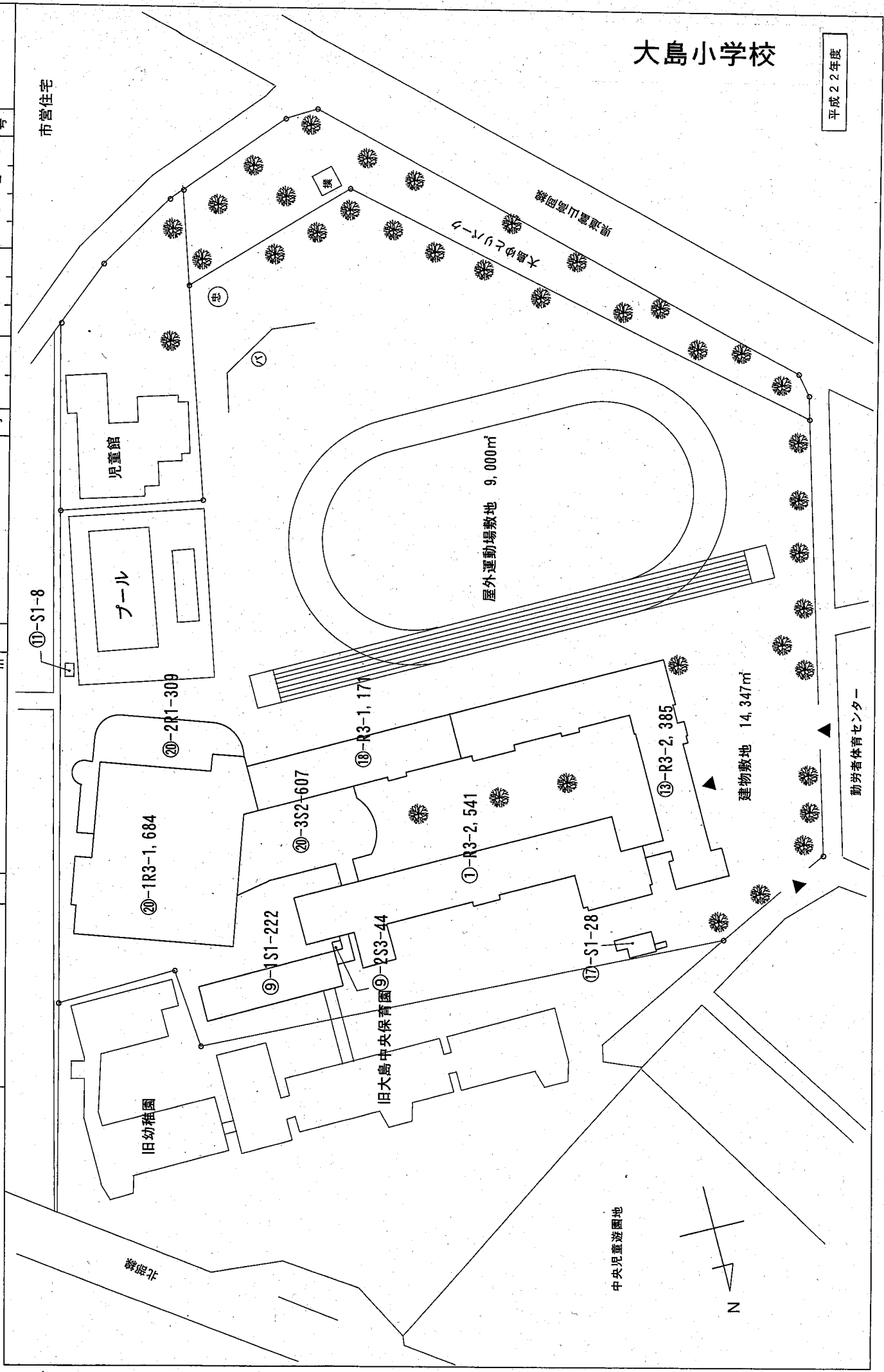
施設の配置図	縮尺	S=1/1000	学校名		下村小学校	調査番号	都道府県	(市町村)	(学・校)	整理番号
			0	10						



大島小学校

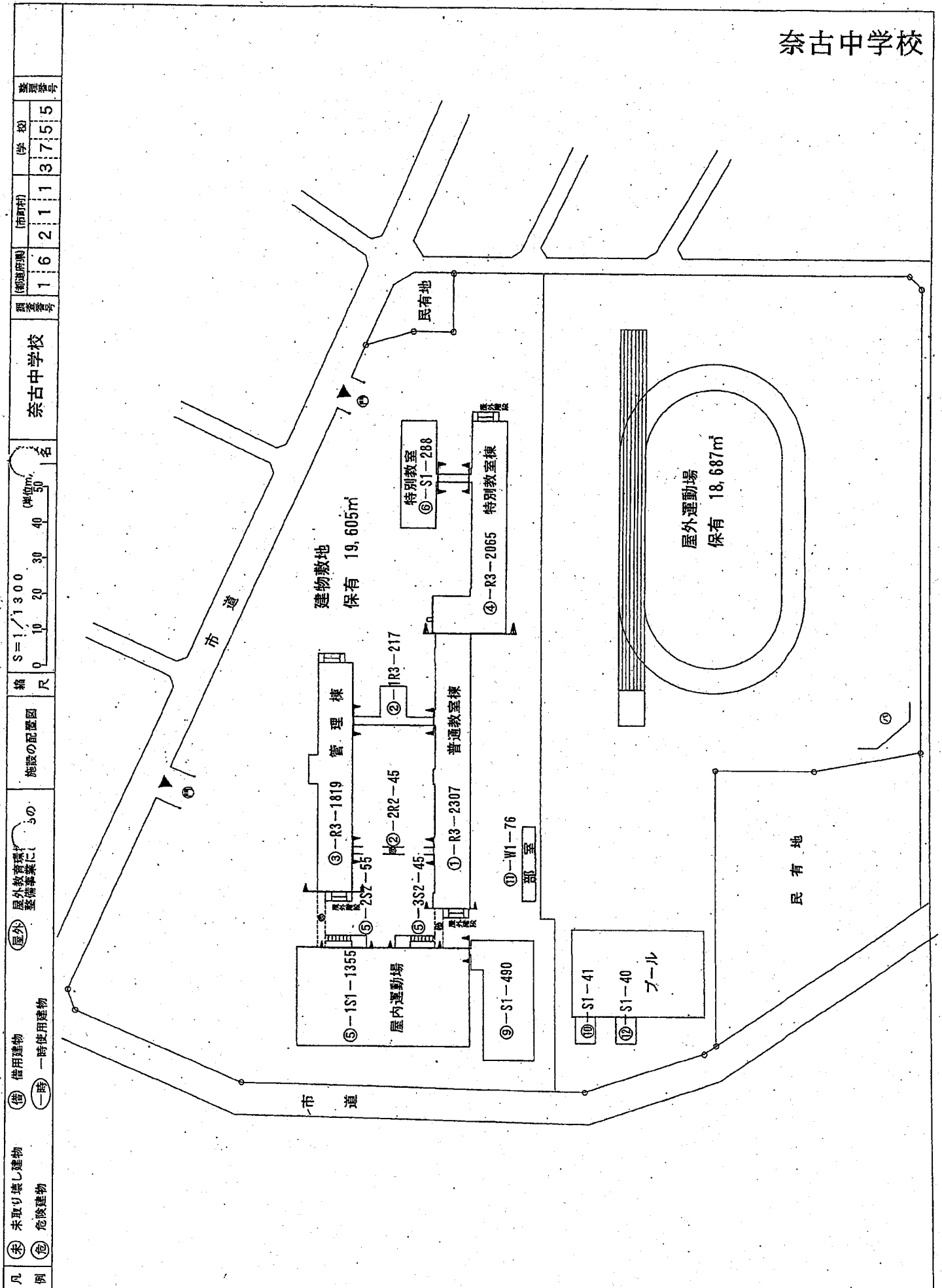
平成22年度

施設の配置図	縮尺	S=1/1000	学校名	大島小学校	調査番号	都道府県	(市町村)	(学 校)	整理番号

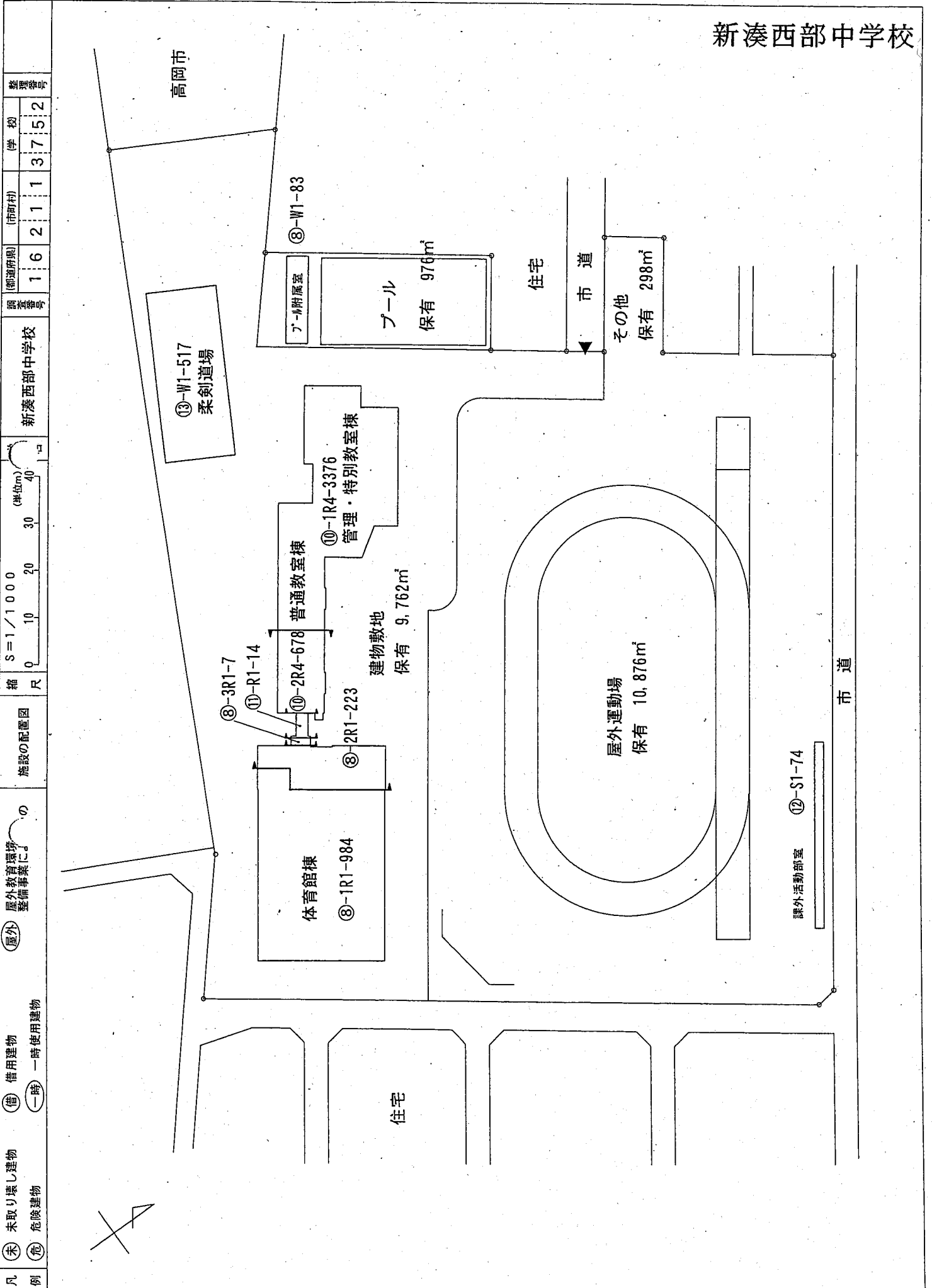


小中学校別配置図 (中学校)

奈古中学校



新湊西部中学校

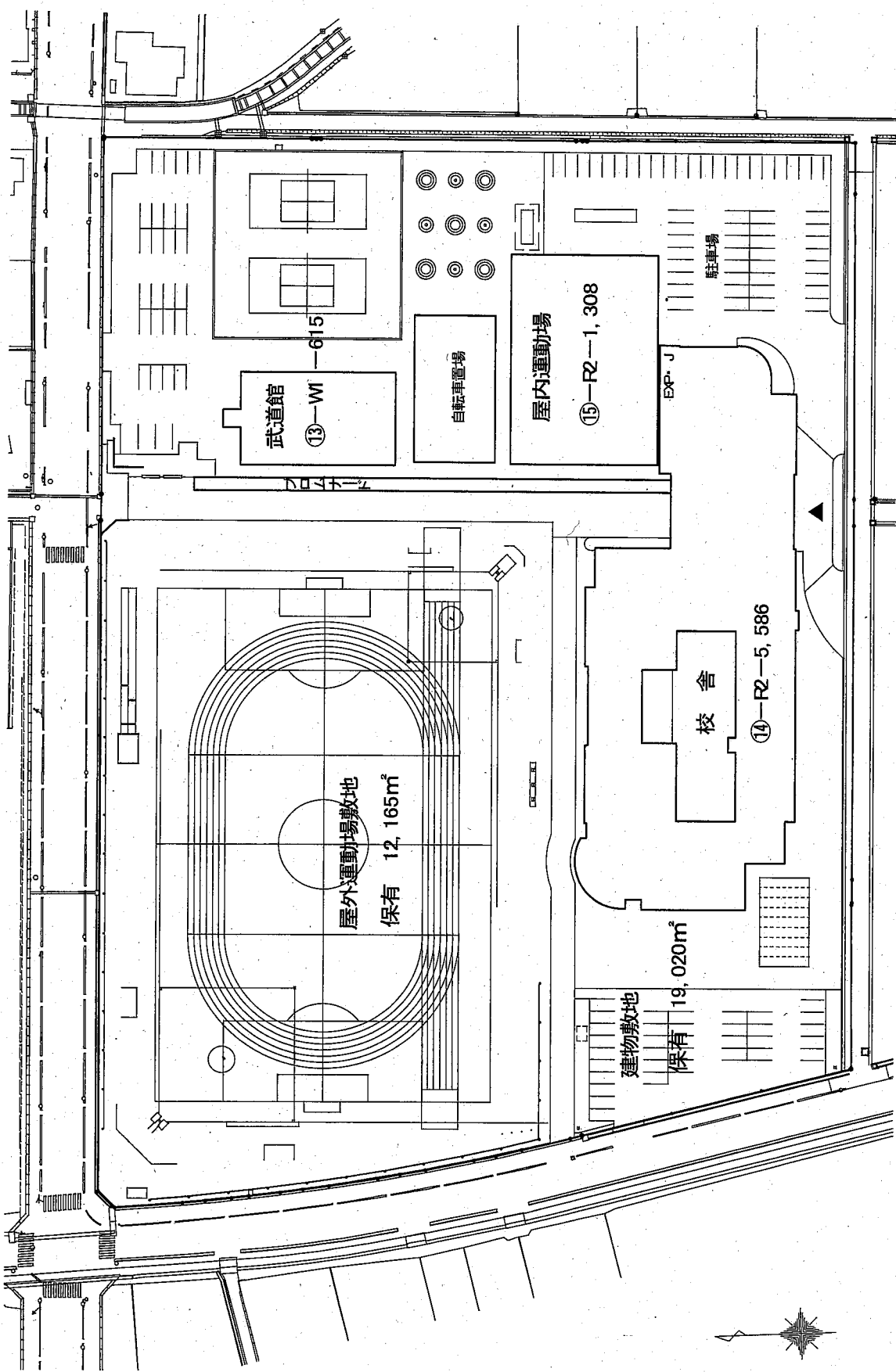


凡例	未取り壊し建物 危険建物	借用建物 一時使用建物	屋外 整備事業に 関係する	施設の配置図	縮尺 0 10 20 30 40 (単位m)	新湊西部中学校	調査番号 1 6	市町村 2 1 1	学校 3 7 5 2	整理番号
----	-----------------	----------------	---------------------	--------	------------------------------	---------	-------------	--------------	---------------	------

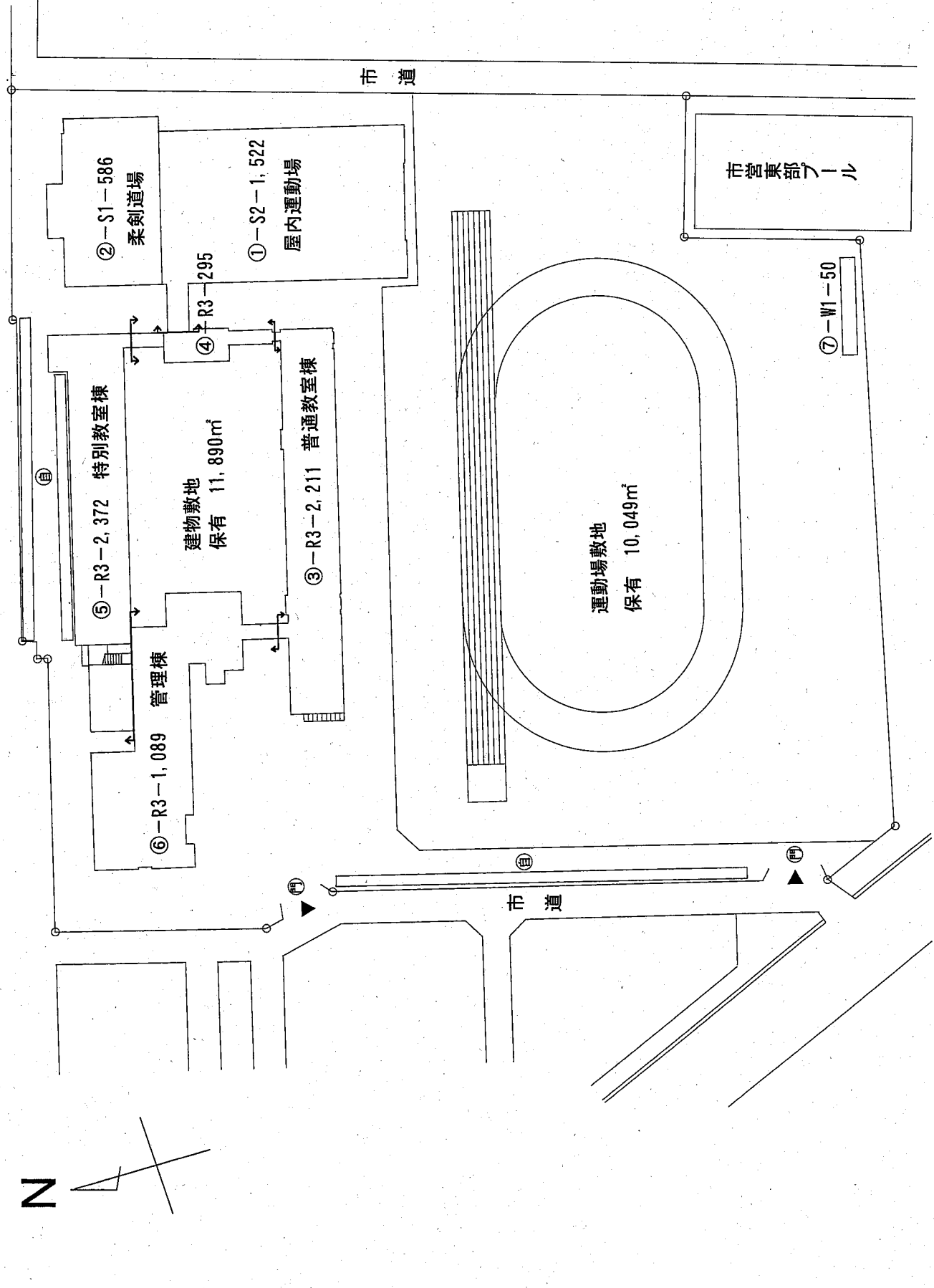
新湊南部中学校

平成22年度

凡例	未 取 り 壊 し 建 物	借 用 建 物	屋外 教育 環境 整備 事業 による もの	施設 の 配 置 図	縮尺	S=1/1200	0 10 20 30 40 50 (単位m)	学 校 名	新湊南部中学校	調 査 号	(都道府県)	(市町村)	(学 校)	登 記 番 号
	未 取 り 壊 し 建 物	借 用 建 物	屋外 教育 環境 整備 事業 による もの	施設 の 配 置 図	縮尺	S=1/1200	0 10 20 30 40 50 (単位m)	学 校 名	新湊南部中学校	調 査 号	(都道府県)	(市町村)	(学 校)	登 記 番 号
	未 取 り 壊 し 建 物	借 用 建 物	屋外 教育 環境 整備 事業 による もの	施設 の 配 置 図	縮尺	S=1/1200	0 10 20 30 40 50 (単位m)	学 校 名	新湊南部中学校	調 査 号	(都道府県)	(市町村)	(学 校)	登 記 番 号



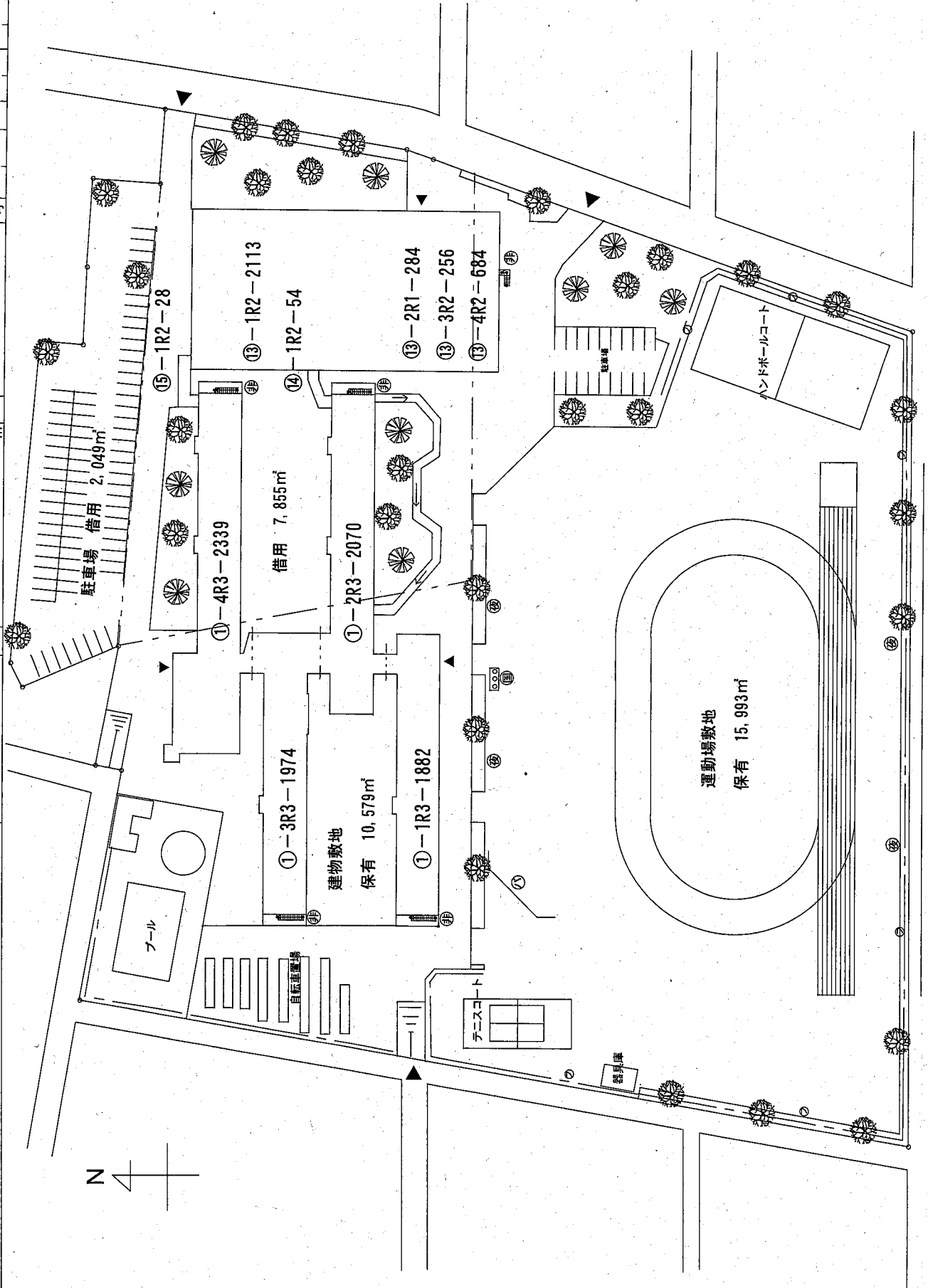
施設の配置図	縮尺	S=1/1000	0 10 20 30 40 m	学校名	射北中学校			調査番号	都道府県	(市町村)	(学校)	整理番号
					116	21111	3171514					



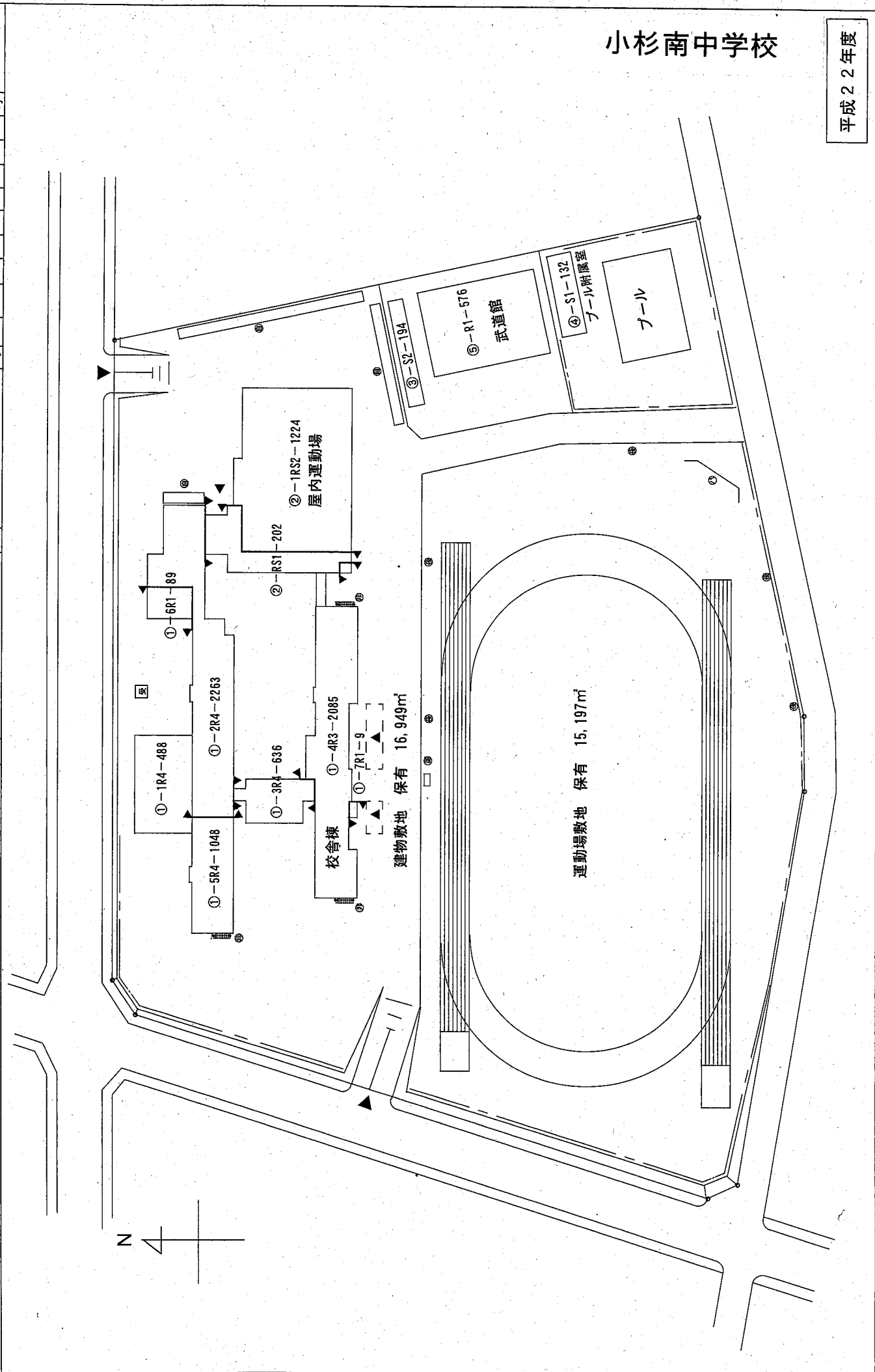
小杉中学校

平成22年度

施設の配置図	縮尺	S=1/1200	学校名				小杉中学校	調査番号	都道府県	(市町村)	(学 校)	整理番号
			0	10	20	30						



施設の配置図	縮尺	S=1/1200	学校名		小杉南中学校	調査番号	都道府県	(市町村)	(学 校)	整理番号
			0	10						

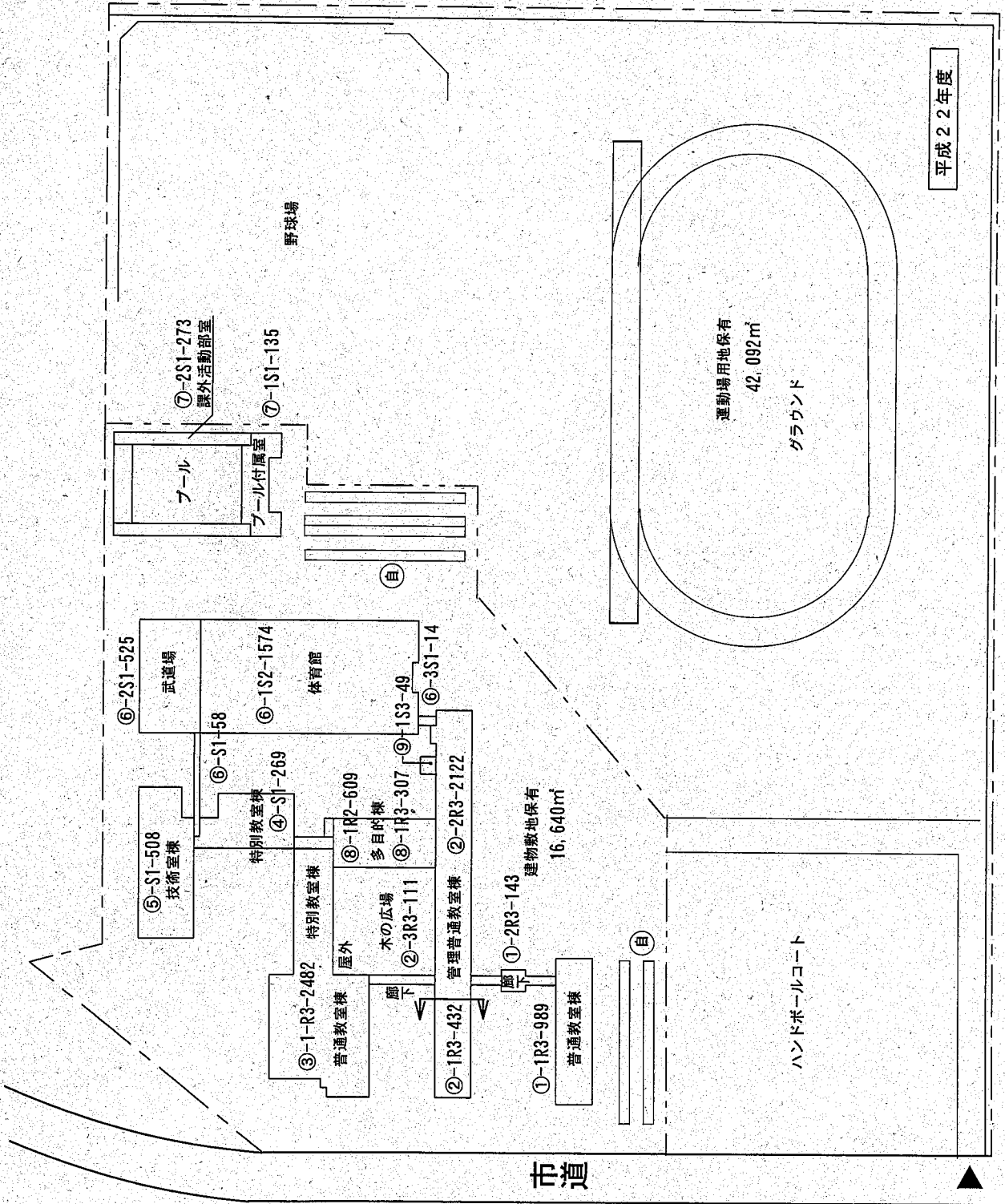


大門中学校

平成22年度

縮尺	S=1/1500				学校名	大門中学校	調査番号	都道府県	市町村	学	校	整理番号			
	0	10	20	30									40		
米	0	10	20	30	40	米	1	6	2	1	1	3	7	0	2

施設の配置図



耐震化優先度

優先度 A	……	補強が必要であり、特に早急に対応が求められる建物(Is値0.3未満)
優先度 B	……	補強が必要であり、早急な対応が求められる建物(Is値0.5未満)
優先度 C	……	補強が必要である建物(Is値0.75未満)
優先度 D	……	ある程度の補強が必要である建物(上記以外)

学校名	建物種別	棟番号	建築年度	構造	階数	床面積(m ²)	耐震性の有無	Is値	耐震化優先度	備考
放生津小学校	校舎	9	平1	RC	4	4,925	有			
	校舎	10-2	平1	RC	2	231	有			
	渡り廊下	10-3	平1	RC	2	28	有			
	渡り廊下	10-4	平1	RC	2	46	有			
	体育館	10-1	平2	S+RC	2	944	有			
新湊小学校	校舎	13-1	平3	RC	3	2,517	有			
	校舎	13-2	平3	RC	3	1,875	有			
	校舎	13-3	平3	RC	4	1,565	有			
	体育館	15	平4	S+RC	2	1,265	有			
作道小学校	校舎	7	昭56	RC	3	1,932	無	0.56	C	
	校舎	8	昭56	RC	2	1,149	無	0.68	C	
	校舎	9	昭56	RC	2	1,053	無	0.69	C	
	体育館	10	昭57	S+RC	1	854	有			
片口小学校	校舎	4-1	昭59	RC	3	787	有			
	渡り廊下	4-2	昭59	RC	2	29	有			
	校舎	6-1	平6	RC	2	1,900	有			
	校舎	7-1	平7	RC	1	149	有			
	校舎	8	平11	RC	2	891	有			
	体育館	9-1	平21	SRC	1	1,459	有			
堀岡小学校	校舎	14	平14	RC	3	3,551	有			
	体育館	15-1	平15	S+RC	1	1,225	有			
東明小学校	校舎	1	昭47	RC	3	1,070	有	0.75		平18～平20 補強済
	校舎	3-1	昭48	RC	3	1,631	有	0.77		
	校舎	3-2	昭48	RC	2	1,753	有	0.75		
	渡り廊下	3-3	昭48	RC	2	238	有	0.76		
	体育館	4	平21	SRC	1	1,311	有			
塚原小学校	校舎	1	昭55	RC	3	2,175	無	0.65	C	
	校舎	2	昭55	RC	2	698	無	0.64	C	
	校舎	4	昭56	RC	2	1,276	有	1.07		
	体育館	5	昭56	S+RC	1	741	有	0.87		
小杉小学校	校舎	1	昭45	RC	3	2,312	有	0.77		平21 補強済
	校舎	8	昭47	RC	3	1,431	有	0.76		
	校舎	7	昭47	RC	3	1,989	無	0.49	B	補強工事中
	校舎	2	昭47	RC	3	1,375	無	0.44	B	
	体育館	3	昭47	S+RC	1	1,254	無	0.96	D	
金山小学校	校舎	7	昭50	RC	3	1,376	有	0.75		平13 補強済
	校舎	8	昭50	RC	3	630	有	0.75		
	体育館	13	平8	S+RC	1	971	有			
歌の森小学校	校舎	7	昭57	RC	3	3,885	有			
	渡り廊下	7-3	昭57	RC	3	183	有			
	校舎	7-4	平13	RC	1	701	有			
	体育館	8	昭57	S+RC	1	1,061	有			
太閤山小学校	校舎	1-1	平17	RC	2	2,892	有			
	校舎	1-2	平17	RC	2	4,417	有			
	体育館	2	平17	S+RC	2	1,648	有			
中太閤山小学校	校舎	1	昭52	RC	3	3,625	有	0.76		平18～平20 補強済
	校舎	4	昭54	RC	3	3,262	有	0.76		
	体育館	2	昭52	S+RC	1	1,240	有	0.83		
大門小学校	校舎	1	平17	RC	3	6,228	有			
	校舎	2	平17	RC	3	1,455	有			
	校舎	3	平17	RC	1	1,184	有			
	体育館	4	平17	S+RC	1	1,295	有			

学校名	建物種別	棟番号	建築年度	構造	階数	床面積(m ²)	耐震性の有無	Is値	耐震化優先度	備考
下村小学校	校舎	1-1	昭45	RC	3	1,518	無	0.35	B	
	校舎	2-1	昭54	RC	3	267	無	0.55	C	
	校舎	5	平1	S	1	398	有			
	体育館	4	昭39	S	1	478	無			
大島小学校	校舎	1	昭30	RC	3	2,541	無	0.33	B	優先度調査ランク2
	校舎	9-1	昭48	S	1	222	無			
	校舎	13	昭51	RC	3	2,385	無	0.45	B	
	校舎	18	昭57	RC	3	1,171	有			
	体育館	20	平8	S+RC	2	1,993	有			
	体育館	20-3	平8	S+RC	2	607	有			
奈古中学校	校舎	1	昭48	RC	3	2,307	無	0.37	B	
	校舎	3	昭50	RC	3	1,819	無	0.53	C	
	校舎	4	昭50	RC	3	2,065	無	0.61	C	
	校舎	6	昭50	S	1	288	有	0.84		
	渡り廊下	5-2	昭50	RC	2	55	無	0.46	B	
	渡り廊下	5-2	昭50	RC	2	45	無	0.45	B	
	渡り廊下	2-1	昭50	RC	3	217	無	0.43	B	
	渡り廊下	2-2	昭50	S	2	45	無	0.00	A	
	体育館	5-1	昭50	S+RC	2	1,355	無	0.16	A	
武道場	9	昭57	S	1	490	有				
新湊西部中学校	校舎	10	昭62	RC	4	4,054	有			
	体育館	8	昭58	S+RC	1	1,207	有			
	武道場	13	昭63	W	1	517	有			
新湊南部中学校	校舎	14	平20	RC	2	5,586	有			
	体育館	15	平20	S+RC	2	1,308	有			
	武道場	13	平12	W	1	615	有			
射北中学校	校舎	3	昭53	RC	3	2,211	無	0.47	B	
	渡り廊下	4	昭53	RC	3	295	無	0.62	C	
	校舎	5	昭53	RC	3	2,372	無	0.35	B	
	校舎	6	昭53	RC	3	1,089	無	0.58	C	
	体育館	1	昭52	S+RC	2	1,522	無	1.1	D	
	武道場	2	昭52	S+RC	1	586	無	1.1	D	
小杉中学校	校舎	1	昭54	RC	3	1,882	無	0.44	B	
	校舎	2	昭54	RC	3	2,070	無	0.39	B	
	校舎	3	昭54	RC	3	1,974	無	0.43	B	
	校舎	4	昭54	RC	3	2,339	無	0.43	B	
	渡り廊下	14	平11	RC	2	54	有			
	渡り廊下	15	平11	RC	2	28	有			
	体育館	13	平11	S+RC	2	3,337	有			
小杉南中学校	校舎	1-1	昭58, 61	RC	4	3,888	有			
	校舎	1-3	昭58	RC	4	636	有			
	校舎	1-4	昭58	RC	4	2,085	有			
	体育館	2	昭58	S+RC	2	1,426	有			
	武道場	5	昭60	RC	1	576	有			
大門中学校	校舎	1-1	昭47	RC	3	989	有	0.8		平9補強済
	渡り廊下	1-2	昭47	RC	3	143	無	0.23	A	補強工事中
	校舎	2-1	昭47	RC	2	432	無	0.33	B	
	校舎	2-2	昭47	RC	3	2,122	無	0.31	B	
	渡り廊下	2-3	昭47	RC	3	111	無	0.47	B	
	校舎	3-1	昭47	RC	3	2,482	無	0.39	B	平8補強済
	校舎	4	昭47	S	1	269	有	0.73		
	校舎	5	昭47	S	1	508	有	0.81		平8補強済
	校舎	8	昭59, 63	RC	3	916	有			平9補強済
	渡り廊下	9-1	平19	S	3	49	有			
体育館	6	昭48	S+RC	2	2,171	有	0.87			

資料 1 4 学校長等を対象にした適正規模・適正配置に関するアンケート結果

小中学校の適正規模・適正配置等に関するアンケート調査結果について

調査対象者	射水市内の小・中学校の校長、教頭、教務主任 74人
調査期間	平成22年5月18日から5月31日
回答数	74人(回答率100%)
調査内容	設問1 小規模校(11学級以下)・大規模校(19学級以上)のメリット・デメリットについて 設問2 適正な学級数について(小・中学校) 設問3 学級の適正児童・生徒数について(小・中学校) 設問4 学校の適正配置について(小・中学校) 設問5 その他(自由意見)

設問1 小規模校(11学級以下)・大規模校(19学級以上)のメリット・デメリットについて

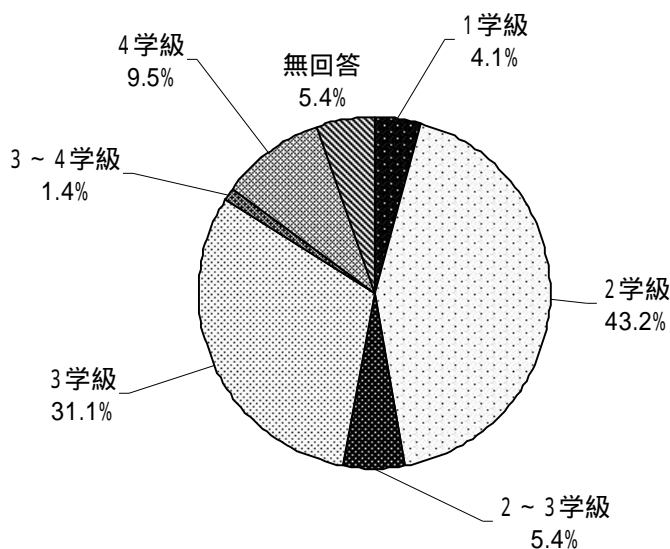
	小規模校(11学級以下を想定)	
	メリット	デメリット
学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒一人ひとりによく目がとどきやすい。 ・個性、特性を把握し、きめ細かな指導が可能である。 ・学校行事等では、一人一人が発表等、活躍する機会が多くあり、充実感や満足感を味わえる。 ・施設設備や教材教具等を余裕を持って使用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。 ・児童・生徒の自主性や互いに刺激し合って培う向上心が育ちににくくなる。 ・体育の団体競技や音楽の合唱等、集団学習が成立しにくい。 ・教員が少ないことから多様な学習、指導形態が取りにくい。 ・中学校において教科によっては専科教員が配置できないことがあり、専門的な指導ができない場合が出てくる。
生活面	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりによく目がとどくので、きめ細かく指導、支援できる。 ・児童・生徒相互、異学年間の人間関係が深まりやすい。 ・互いの結びつきが深くなり、家庭的な人間関係を形成しやすい。 ・教員と児童・生徒の結びつきが深くなる。 ・教職員同士で共通理解が図りやすいので、全校体制で取り組むことができる。 ・保護者との接する機会が多くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係や評価が固定化しやすい。 ・人間関係が一度こじれると修復しにくい。 ・なれ合いになり、切磋琢磨する機会が少ない。 ・児童・生徒数が少ないと人間関係を考慮した学級編制がしにくい。 ・男女数に偏りができ、活動に支障をきたす恐れがある。 ・児童・生徒同士の刺激が少なくなり、競争心が芽生えにくい。
学校運営面	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員相互の連携が密になり、意思疎通が図りやすい。 ・学校全体がまとまりやすい。 ・臨機応変に弾力的な学校運営ができる。 ・保護者、地域との連携が図りやすく活気のある運営が行える。また、地域の協力も得やすい。 ・多種の校務分掌を経験できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な面で児童・生徒一人ひとりの負担が大きい。 ・教員の出張、研修等の調整が難しくなる。 ・教員一人当たりの校務分掌が多くなる。 ・教職員が少ないので、経験、教科、男女比及び年齢等の面でバランスのとれた配置が行いにくい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者(P T A)や地域との連携がとりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の負担が大きい(経費、P T A役員)。 ・生徒の興味・関心に対応できる多様な部活動が成立しにくい。 ・少人数のため部活動の運営が困難になる場合がある。

	大規模校（19学級以上を想定）	
	メリット	デメリット
学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で、多様な考えに触れることができ、切磋琢磨することができる。 ・体育活動やグループ活動で多様な組み合わせや対戦もでき向上心に結びつく。 ・教職員、児童・生徒が多いため、集団学習や専門教員による指導等、多様な学習・指導形態が取りやすい。 ・活気のあるダイナミックな行事や集団活動を行いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒一人ひとりの個性、特性を把握しにくい。 ・児童・生徒に応じたきめ細かい指導がしにくい。 ・施設設備の利用が制限され、カリキュラムが組みにくくなる。 ・児童・生徒一人ひとりの活動機会を設定しにくく、また活躍できる場面が少なくなりやすい。 ・大勢の意見に流されやすい子が多くなる。
生活面	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス替えができ、固定化されない豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られる。 ・大集団で成し遂げた場合の充実感は大きい。 ・一人の児童・生徒を多くの教員で多面的に見ることができる。 ・児童・生徒の関心に刺激があり、意欲を持つ機会が多くある。 ・多様な集団活動が可能となり、活気が生じやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒間や教員との人間関係が深まりにくく、希薄になりがちである。 ・児童・生徒一人ひとりを把握できにくく、個別の指導や支援が実施しにくい。 ・多種多様な問題が発生する可能性があり、また、早期発見しにくい。 ・自分がやらなくても誰かがやってくれるだろうと他の児童・生徒への依存心が強くなりやすい。 ・児童・生徒一人ひとりの活動機会を設定しにくく、また活躍できる場面が少ない。
学校運営面	<ul style="list-style-type: none"> ・経験、教科、男女比及び年齢等の面でバランスのとれた教職員配置が可能である。 ・職員一人当たりの負担が軽減される。 ・教員は出張、研修に参加しやすい。 ・教職員の数が多いため、教職員同士で、相談、研究、協力、切磋琢磨が行いやすく教員としての資質を高めやすい。 ・保護者の人数が多いので、協力してもらえる人数も多い。 ・学校全体で組織的な指導体制が図られやすい。 ・校務分掌等を組織的に行いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が多いため、相互の連絡調整や意思疎通が図りづらい。 ・体育館や特別教室等の施設、設備の利用に制限が生じる。 ・多様な価値観をもった保護者の意見がとらえにくく、意見を学校運営に反映しにくい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの活動や費用等、一人当たりの負担が減る。 ・部活動の選択肢が多くなる。 ・生徒会活動が活発である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域社会との連携が取りにくくなり、苦情や不満の声も増える。 ・教員と保護者、保護者同士の関係が希薄になり、PTA活動の一体化が図りにくい。

設問2 適正な学級数について

(1) 小学校1学年当たり

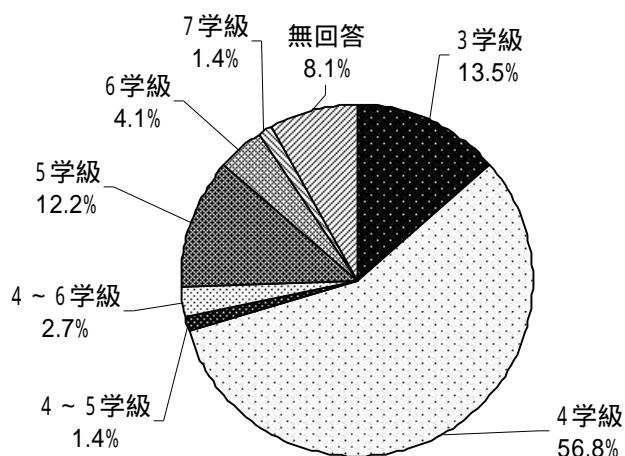
1学級	3人
2学級	32人
2～3学級	4人
3学級	23人
3～4学級	1人
4学級	7人
5学級	0人
6学級	0人
無回答	4人



学級数	主な理由
1学級	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では、1年生から6年生までの発達段階の差が大きい、各々の成長の段階に応じてよりきめの細かい支援と手立てが必要である。学校全体としてそのように運営するには、1学級がよいと思う。児童にとって、異学年での活動が教育効果を上げることにつながるが、それがより効果的に行える。
2学級	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス替えが可能であり、豊かな人間関係の構築が図りやすい。 ・発達障害等の多様な子どもたちが増加していることなどを考えると、1学年2学級程度の学年運営・学校運営がいちばん適正だと思われる。 ・教職員全員が、全校児童の名前と顔を一致させて覚えることができる。学校として、全教職員が教育活動を共通理解しあいながら進めることができる。
3学級	<ul style="list-style-type: none"> ・学年運営において相談しやすく、クラス分けにおいても支援を必要とする子どものクラス分けがしやすい。 ・運動会や球技大会、合唱コンクール等でよい意味での競争意識、向上心をもって取り組むためには、3学級程度がよいと考える。 ・一人の教員の負担軽減につながるだけでなく、個別指導や少人数指導に時間がかかりやすく、学習形態も工夫しやすい。 ・学年会議や教材研究等の時間が取りやすく、指導力向上につながる。 ・職員会議や研修会が設定しやすい。
4学級	<ul style="list-style-type: none"> ・学年内での教員同士の協力体制が築けやすい。クラス替えがしやすい。

(2) 中学校 1 学年当たり

1 学級	0 人
2 学級	0 人
3 学級	10 人
4 学級	42 人
4～5 学級	1 人
4～6 学級	2 人
5 学級	9 人
6 学級	3 人
7 学級	1 人
無回答	6 人

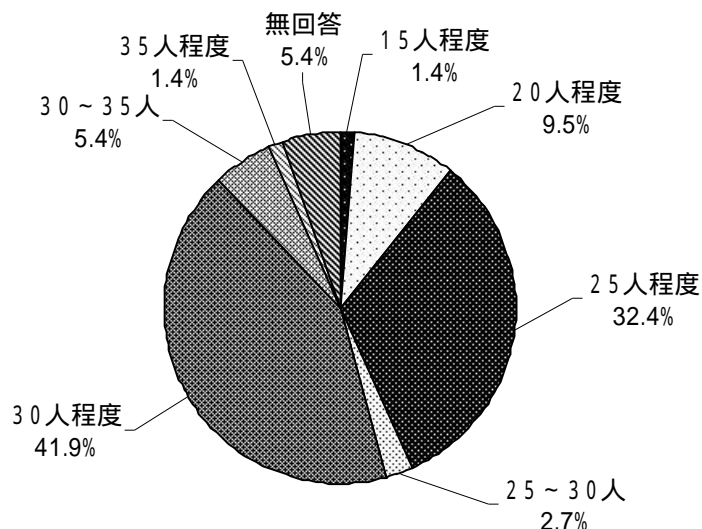


学級数	主な理由
3 学級	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス替えを行うことにより、豊かな人間関係を構築するとともに、切磋琢磨する機会が増え、社会性や協調性等をはぐくみやすい。 ・運動会や球技大会、合唱コンクール等でよい意味での競争意識、向上心をもって取り組むためには、3 学級程度がよいと考える。 ・部活動が成り立つためにもある程度の人数が必要である。
4 学級	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会などの学校行事で、縦割りの団編成が可能となる。 ・部活動において、生徒の要望にある程度対応できる。(部員数や顧問の確保) ・5 教科(国、社、数、理、英)に複数の教員を配置でき、全教科に専任教員を配置できる。
5 学級	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整が図り易く、授業研究や教材研究等、多様な視点から改善でき、様々な取り組みを行うことができる。また学年分掌事務も協力し合うことで、活動範囲や内容に幅が広がる。教師間の学び合いも深まり、同僚性が高まる。
6 学級	<ul style="list-style-type: none"> ・学年での活動や学級編成等のことについて考えた場合、生徒の人間関係への配慮や教育活動の活性化を図るために適当と考えられる。 ・各教科の教員配置や持ち時間数等考えた場合、1 学年当たりに適当な学級数と考えられる。

設問3 学級の適正児童・生徒数について

(1) 小学校1学級当たり児童数

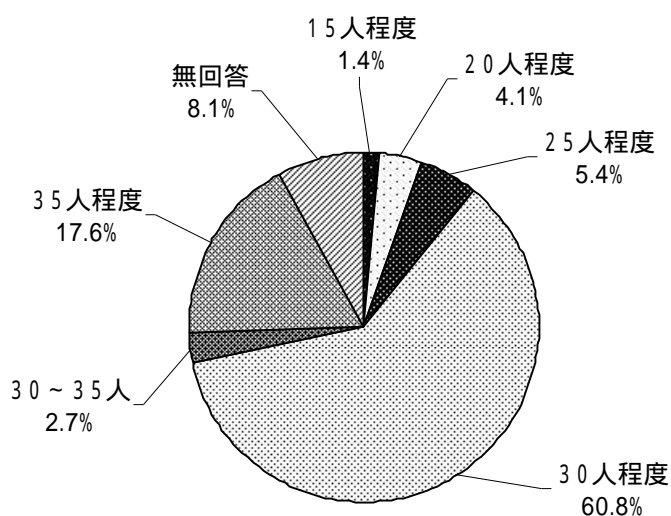
10人程度	0人
15人程度	1人
20人程度	7人
25人程度	24人
25～30人程度	2人
30人程度	31人
30～35人	4人
35人程度	1人
40人程度	0人
無回答	4人



学級数	主な理由
15人程度	<ul style="list-style-type: none"> ・学力をつけることを中心に考えれば、少人数であればそれに越したことはないが、学校教育の目的はそれだけではない。だとすれば、15人程度が理想と考える。
20人程度	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年ほど子ども一人ひとりに目を配り、ていねいな指導を行うことが必要であるが、20人程度であれば集団としての学習が成り立ち、男女の割合も偏ることはないと考え。 ・グループ学習をする際に、4人グループが5～6できればよいと思われる。 ・20名程度なら、学習でも生活の面でも活躍の場があり、自己肯定感のある児童が育つと考える。
25人程度	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援が必要な児童がいる場合等の対応を考えたとき、教師の目が届きやすい人数である。 ・小学校では25人程度であれば、一日に一回、必ず言葉を交わすことができる。それよりも少なくなると、子ども同士の間関係が密になりすぎ、ストレスを感じる子どももいると思われる。 ・ドリルやプリント、ノート等の丸付けにかかる時間が少なくなる分、ノート指導や誤答に対する個別指導への時間をかけることができる。 ・教室での空きスペースを考えると、安全で目が行き届く。 ・一人一人の活躍の場が増え、学校生活への充実感を味わわせることにもつながる。
30人程度	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、特にADHD（注意欠陥・多動性障害）やLD（学習障害）を含む学習障害系の子どもが増加しており、学力を定着させる学級の人数には、限界が見られるようになってきた。 ・学習集団として、グループ活動や話し合い活動など、関わり合いを通して高まり合うことが期待できる。
35人程度	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に応じた指導が可能である。 ・学年によっては、40人ぎりぎりの定数になり、きめ細かな指導が困難になる。

(2) 中学校 1 学級当たり生徒数

10人程度	0人
15人程度	1人
20人程度	3人
25人程度	4人
30人程度	45人
30～35人	2人
35人程度	13人
40人程度	0人
無回答	6人



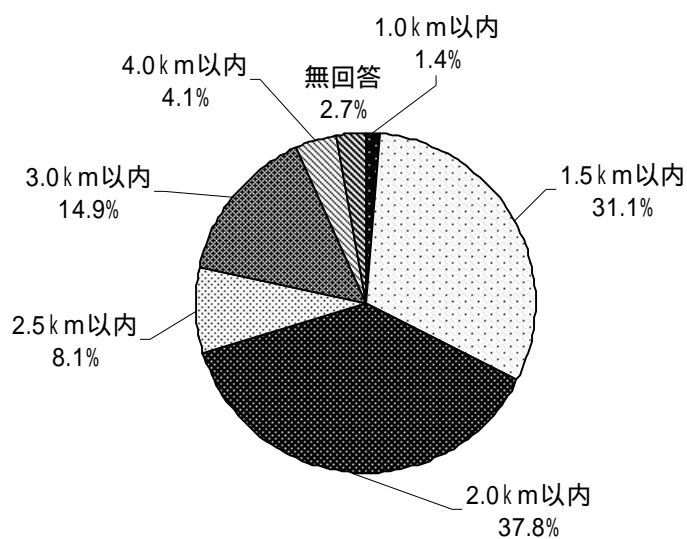
学級数	主な理由
15人程度	<ul style="list-style-type: none"> ・学力をつけることを中心に考えれば、少人数であればそれに越したことはないが、学校教育の目的はそれだけではない。だとすれば、15人程度が理想と考える。
20人程度	<ul style="list-style-type: none"> ・集団での学習を展開しながら個に応じた指導を展開できる状況としては、20人程度が適当と思われる。これまでも、数学等で少人数における習熟度学習を実施してきたが、効果をあげるには20人以下であってほしい。
25人程度	<ul style="list-style-type: none"> ・20人では、多面的な考え方に触れることが難しい。人間関係も固定しやすい。30人では、きめ細やかな指導に難がある。
30人程度	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校に比べて一人で学習を進める力が付いているので30人または、35人程度がよいと思う。 ・社会の変化が著しく、多様な考え方が保護者や地域にある中、できるだけ少人数の学級で、担任のかかわりが充実できれば良いと考える。 ・学習集団として、生徒が刺激し合いながら、機能でき、教師は個を意識した対応がある程度のゆとりをもって行うことができる。 ・経験上、30人前後が学級の活気、一人ひとりの実態把握、進路指導上、適正だと考える。
35人程度	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での基盤を引き継ぎ、一人ひとりが自立し始め、自分の考えや学習や部活動に取り組める時期になるので、多少多いほうがよい。又、部活のことも考えて少し多いほうがよい。

設問4 学校の適正配置について

(1) 小学生

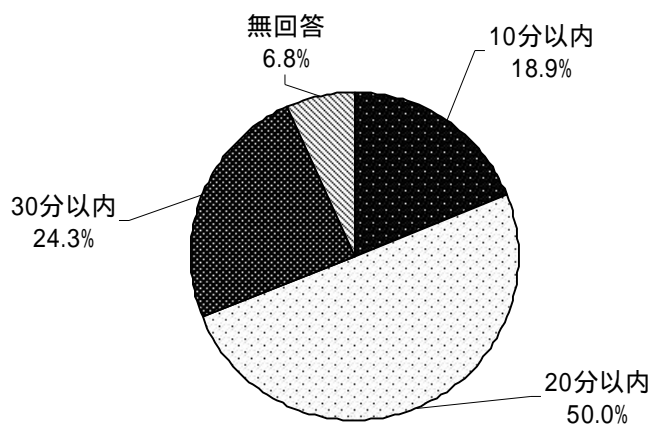
徒歩通学の場合

1.0 km以内	1人
1.5 km以内	23人
2.0 km以内	28人
2.5 km以内	6人
3.0 km以内	11人
3.5 km以内	0人
4.0 km以内	3人
4.0 km以上	0人
無回答	2人



スクールバス又は公共交通機関を利用する場合

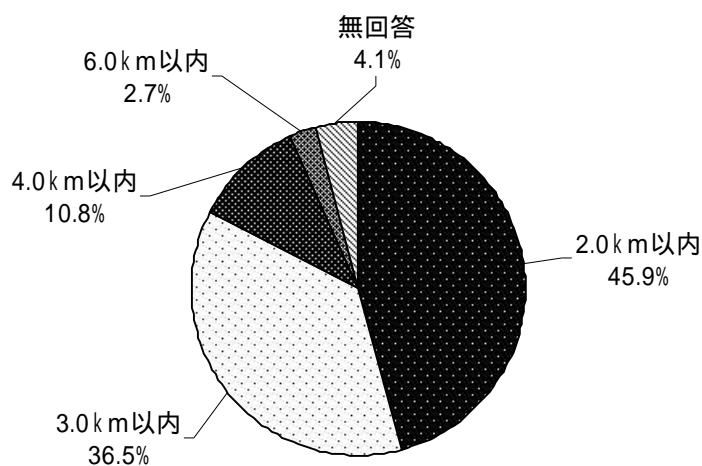
10分以内	14人
20分以内	37人
30分以内	18人
40分以内	0人
50分以内	0人
50分以上	0人
無回答	5人



(2) 中学生

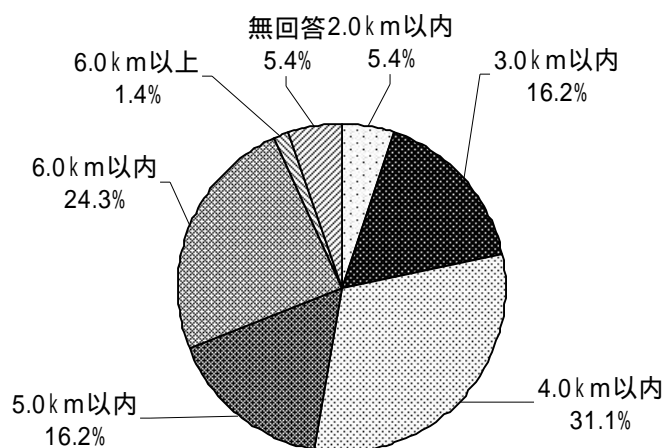
徒歩通学の場合

1.0 km以内	0人
2.0 km以内	34人
3.0 km以内	27人
4.0 km以内	8人
5.0 km以内	0人
6.0 km以内	2人
6.0 km以上	0人
無回答	3人



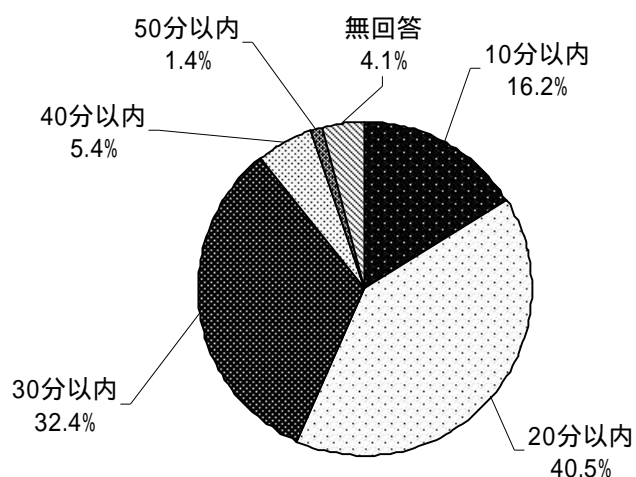
自転車通学の場合

1.0 km以内	0人
2.0 km以内	4人
3.0 km以内	12人
4.0 km以内	23人
5.0 km以内	12人
6.0 km以内	18人
6.0 km以上	1人
無回答	4人



公共交通機関を利用する場合

10分以内	12人
20分以内	30人
30分以内	24人
40分以内	4人
50分以内	1人
50分以上	0人
無回答	3人



設問5 その他（自由意見）

大項目	小項目	内容
学校の規模	小規模校	中学校においては、免許外の教科を持つ教員がでないように、小規模校では教師が複数の学校に勤務することになる場合もあるが、各学年に全教科の教員を配置してもらいたい。
	大規模校	大門小のように大規模な統合は「確実な学力を保障する」「ていねいな個別指導をする」という真の学校教育から次第に遠ざかっているように思えます。教育にもっとお金をかけないと、教育の質が低下し、ひいては、日本の将来に大きなかげりをもたらすのではないかと不安を抱いています。
児童生徒数	学級編制基準の改正	最大の関心ごとは、学級編制基準の改正。35人以下学級ないし30人以下学級を一層推進していく必要があるのではないかと考えている。
	児童数	小学校の児童数について、低学年は30人程度、高学年は35人程度が望ましい。
学校の配置	通学区域の見直し	射水市は、各学校間の人数のばらつきが多いので、やはり通学区域の見直しを図る必要があると考えます。
	通学距離	小学校の1年生の足で4km以上の通学は辛いと考える。
	通学距離	小学校低学年の徒歩通学の場合、1.5kmが限度ではないか。
	通学距離	起床時間や始業までの動きを考えると、通学にかかる時間として徒歩でも30分以内であることが望ましい。自転車、交通機関利用も同様に30分以内を目安に考えたい。
通学手段	コミュニティバスの運行	中学生の自転車通学者の冬季の登下校は保護者の送迎が多い。それを解消するためにその期間は、登下校時刻に合ったコミュニティバスの運営（運行する本数を増やす。運賃を無料または割安な定期にするなど）を考えてほしい。
	スクールバス	中学校にもスクールバスがほしい。
学校の特色と地域	学校の特色	それぞれの学校には学校の、他にはない「よさ」がある。その「よさ」を意識して、発展させていく努力が必要である。公立の学校であるから違ってはいけないが、「地域」を含めて、特色は大事にしたい。故に「違い」があって当たり前。保護者が選ぶ時代とも思う。
	学校と地域	地域性から離れた義務教育はないと思います。地域とのつながり、信頼を得ることができる文化や伝統もふまえた適正化をすすめていただきたいと思います。

大項目	小項目	内容
学校運営	部活と社会体育	中学校における部活動を早く社会体育の方向へもって行き、中学校教員の仕事の軽減を図ってほしい。
	備品の更新	学校における備品や教材が古く、更新されていくことが大切だと思う。
人事	教諭の人事交流	小学校と中学校、高校と小学校の教員の人事交流を行い、各世代の成長について学び、教育活動に幅を持たせる。
	人材の登用	学校の校務以外で生徒と関わることができる人材を登用する。
学校と行政	学校と教育委員会との連携	市役所内の行政連絡を密にし、学校建設や改修工事等において、該当校区内の団地の造成やアパート建設等の情報を的確にキャッチし児童数の増減を掌握することが必要である。 教室が足りなくなってから改修や増築するのではなく、学級増が予測される場合は、前年度の内に対応していただけるようお願いしたい。
	学校教育と行財政改革	学校教育は、行財政改革と違い、教師と子どもが接する場、人間形成の大きな任をもつ。学校規模の適正配置が人数だけによる安易で拙速な議論にならないよう希望します。

【ブロック別児童・生徒数の推移】

	児童生徒数推移 学校名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
		新湊西ブロック	奈古中学校	191	207	191	188	175	175	179	158	149	134	140
新湊西部中学校	159		146	147	142	134	121	119	117	117	121	120	118	109
中学校計	350		353	338	330	309	296	298	275	266	255	260	246	237
放生津小学校	279		257	251	238	226	213	199	-	-	-	-	-	-
新湊小学校	340		320	307	314	310	299	293	-	-	-	-	-	-
小学校計	619		577	558	552	536	512	492	-	-	-	-	-	-
新湊南ブロック	新湊南部中学校	244	249	236	240	228	226	218	214	213	205	213	209	218
	中学校計	244	249	236	240	228	226	218	214	213	205	213	209	218
	作道小学校	277	275	279	260	279	278	281	-	-	-	-	-	-
	塚原小学校	164	153	148	154	140	141	142	-	-	-	-	-	-
	小学校計	441	428	427	414	419	419	423	-	-	-	-	-	-
新湊東・下ブロック	射北中学校	447	462	446	464	443	436	412	396	409	407	418	410	369
	中学校計	447	462	446	464	443	436	412	396	409	407	418	410	369
	片口小学校	304	275	287	285	301	300	285	-	-	-	-	-	-
	堀岡小学校	148	155	154	152	151	162	162	-	-	-	-	-	-
	東明小学校	405	391	392	374	355	353	328	-	-	-	-	-	-
	下村小学校	125	124	117	109	107	105	91	-	-	-	-	-	-
	小学校計	982	945	950	920	914	920	866	-	-	-	-	-	-
小杉ブロック	小杉中学校	649	657	696	720	727	732	718	692	657	645	648	631	630
	小杉南中学校	363	393	396	423	412	428	412	399	376	362	342	331	330
	中学校計	1012	1050	1092	1143	1139	1160	1130	1091	1033	1007	990	962	960
	小杉小学校	614	620	600	595	589	558	556	-	-	-	-	-	-
	金山小学校	76	70	63	67	63	61	64	-	-	-	-	-	-
	歌の森小学校	460	464	460	466	455	444	437	-	-	-	-	-	-
	太閤山小学校	537	518	513	493	480	453	451	-	-	-	-	-	-
	中太閤山小学校	404	387	397	373	362	361	366	-	-	-	-	-	-
	小学校計	2091	2059	2033	1994	1949	1877	1874	-	-	-	-	-	-
大門・大島ブロック	大門中学校	654	689	734	762	805	815	802	783	766	764	756	740	699
	中学校計	654	689	734	762	805	815	802	783	766	764	756	740	699
	大門小学校	845	849	848	858	853	822	790	-	-	-	-	-	-
	大島小学校	705	728	724	704	684	684	671	-	-	-	-	-	-
	小学校計	1550	1577	1572	1562	1537	1506	1461	-	-	-	-	-	-
中学校総計		2707	2803	2846	2939	2924	2933	2860	2759	2687	2638	2637	2567	2483
小学校総計		5683	5586	5540	5442	5355	5234	5116	-	-	-	-	-	-

新湊西ブロック(中学校) 学校を統合した場合のシミュレーション

中学校の規模推移見込み(平22・平28・平34比較)

40人学級の場合

平成22年5月1日現在

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	生徒数
			適正規模				
学級数	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校名							
学校別	奈古中学校 耐震性 一部校舎有 体育館 無 武道館 有	平34(5) ←	平22(6) 平28(6)				平22 191人 平28 179人 平34 128人
	新湊西部中学校 耐震性 有	平28(4) ← 平34(4)	平22(6)				平22 159人 平28 119人 平34 109人
統合	奈古中学校 新湊西部中学校		平22(11) 平28(9) 平34(7)				平22 350人 平28 298人 平34 237人

35人学級の場合(国新計画)

平成22年5月1日現在

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	生徒数
			適正規模				
学級数	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校名							
学校別	奈古中学校 耐震性 一部校舎有 体育館 無 武道館 有	平34(5) ←	平22(6) 平28(6)				平22 191人 平28 179人 平34 128人
	新湊西部中学校 耐震性 有	平34(5) ←	平22(6) 平28(6)				平22 159人 平28 119人 平34 109人
統合	奈古中学校 新湊西部中学校		平22(11) 平28(9) 平34(9)				平22 350人 平28 298人 平34 237人

学校規模の分類については、文部省助成課資料(昭和59年作成)「これからの学校施設づくり」資料による。

40人学級の場合は、1学級は40人以下。()内の数は、普通学級数

35人学級の場合は、1学級は35人以下。()内の数は、普通学級数

(国新計画)とは平成22年8月に文部科学省が策定した「新・公立義務教育諸学校教職員定数改善計画(案)」による。

平成23年度以降の学級数(見込み)は、射水市住民基本台帳のデータの児童数(見込み)から算出。

学校名の下は耐震性の有無について記載してある。

新湊西ブロック(小学校) 学校を統合した場合のシミュレーション

小学校の規模推移見込み(平22と平28比較)

40人学級の場合

平成22年5月1日現在

学校別	学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	児童数 (平22・平28)
	学級数 学校名	1~5	6~11	適正規模	12~18	19~24	25~30	
学校別	放生津小学校 耐震性 有		平28(6) ← 平22(12)					平22 279人 平28 199人
	新湊小学校 耐震性 有			平22(12) 平28(12)				平22 340人 平28 293人

統合	放生津小学校 新湊小学校			平28(17) ← 平22(19)				平22 619人 平28 492人
----	-----------------	--	--	-------------------	--	--	--	----------------------

35人学級の場合(国新計画)

平成22年5月1日現在

学校別	学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	児童数 (平22・平28)
	学級数 学校名	1~5	6~11	適正規模	12~18	19~24	25~30	
学校別	放生津小学校 耐震性 有		平28(8) ← 平22(12)					平22 279人 平28 199人
	新湊小学校 耐震性 有			平22(12) 平28(12)				平22 340人 平28 293人

統合	放生津小学校 新湊小学校			平28(18) ← 平22(19)				平22 619人 平28 492人
----	-----------------	--	--	-------------------	--	--	--	----------------------

新湊南ブロック(中学校) 通学区域を見直した場合のシミュレーション

中学校の規模推移見込み(平22・平28・平34比較)

40人学級の場合

平成22年5月1日現在

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	生徒数
			適正規模				
学級数	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校名							
学校別	新湊南部中学校 耐震性 有		平22(8) 平28(6) 平34(6)				平22 244人 平28 218人 平34 218人
	射北中学校 校舎 無 体育館 無 武道館 有		平34(11) ←	平22(12) 平28(12)			平22 447人 平28 412人 平34 369人
	(うち片口地区)						平22 171人 平28 149人 平34 146人
	小杉中学校 校舎 無 体育館 有			平34(18) ←	平22(19) 平28(19)		平22 649人 平28 718人 平34 630人
	(うち下地区)						平22 55人 平28 66人 平34 47人
通学区域見直し	新湊南部中学校 (片口地区含む)		平28(11) ← 平34(10)	平22(12)			平22 415人 平28 367人 平34 364人
	射北中学校 (片口地区除く) (下地区含む)		平22(9) 平28(10) 平34(8)				平22 331人 平28 329人 平34 270人
	小杉中学校 (下地区除く)			平22(16) 平28(18) 平34(16)			平22 594人 平28 652人 平34 583人

35人学級の場合(国新計画)

平成22年5月1日現在

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	生徒数
			適正規模				
学級数	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校名							
学校別	新湊南部中学校 耐震性 有		平22(8) 平28(8) 平34(8)				平22 244人 平28 218人 平34 218人
	射北中学校 校舎 無 体育館 無 武道館 有		平34(11) ←	平22(12) 平28(13)			平22 447人 平28 412人 平34 369人
	(うち片口地区)						平22 171人 平28 149人 平34 146人
	小杉中学校 校舎 無 体育館 有				平22(19) 平28(22) 平34(20)		平22 649人 平28 718人 平34 630人
	(うち下地区)						平22 55人 平28 66人 平34 47人
通学区域見直し	新湊南部中学校 (片口地区含む)			平22(12) 平28(12) 平34(12)			平22 415人 平28 367人 平34 364人
	射北中学校 (片口地区除く) (下地区含む)		平22(9) 平28(11) 平34(8)				平22 331人 平28 329人 平34 270人
	小杉中学校 (下地区除く)			平22(16) 平34(18) ←	平28(20)		平22 594人 平28 652人 平34 583人

新湊南ブロック(小学校) 学校を統合した場合のシミュレーション

小学校の規模推移見込み(平22と平28比較)

40人学級の場合

平成22年5月1日現在

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	児童数 (平22・平28)
			適正規模				
学級数 学校名	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校別	塚原小学校 耐震性 一部校舎 有 体育館 有		平22(6) 平28(6)				平22 164人 平28 142人
	作道小学校 耐震性 校舎 無 体育館 有		平28(11) ← 平22(12)				平22 277人 平28 281人
統合	塚原小学校 作道小学校		平22(14) 平28(13)				平22 441人 平28 423人

35人学級の場合(国新計画)

平成22年5月1日現在

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	児童数 (平22・平28)
			適正規模				
学級数 学校名	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校別	塚原小学校 耐震性 一部校舎 有 体育館 有		平22(6) 平28(6)				平22 164人 平28 142人
	作道小学校 耐震性 校舎 無 体育館 有		平28(11) ← 平22(12)				平22 277人 平28 281人
統合	塚原小学校 作道小学校		平22(14) 平28(14)				平22 441人 平28 423人

新湊東・下ブロック(中学校) 通学区域を見直した場合のシミュレーション

中学校の規模推移見込み(平22・平28・平34比較)

40人学級の場合

平成22年5月1日現在

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	生徒数
			適正規模				
学級数	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校名							
学校別	射北中学校 校舎 無 体育館 有 武道館 無		平22(12) 平28(12) 平34(11)←				平22 447人 平28 412人 平34 369人
	小杉中学校 校舎 無 体育館 有		平34(18)←	平22(19) 平28(19)			平22 649人 平28 718人 平34 630人
	(うち下地区)						平22 55人 平28 66人 平34 47人
通学区域の見直し	射北中学校 (下地区含む)		平22(14) 平28(14) 平34(11)←				平22 502人 平28 478人 平34 416人
	小杉中学校 (下地区除く)		平22(16) 平28(18) 平34(16)				平22 594人 平28 652人 平34 583人

35人学級の場合(国新計画)

平成22年5月1日現在

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	生徒数
			適正規模				
学級数	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校名							
学校別	射北中学校 校舎 無 体育館 有 武道館 無		平22(12) 平28(13) 平34(11)←				平22 447人 平28 412人 平34 369人
	小杉中学校 校舎 無 体育館 有			平22(19) 平28(22) 平34(20)			平22 649人 平28 718人 平34 630人
	(うち下地区)						平22 55人 平28 66人 平34 47人
通学区域の見直し	射北中学校 (下地区含む)		平22(14) 平28(15) 平34(13)				平22 502人 平28 478人 平34 416人
	小杉中学校 (下地区除く)		平22(16) 平34(18)←	平28(20)▼			平22 594人 平28 652人 平34 583人

新湊東・下ブロック(小学校) 2つの小学校に再編した場合のシミュレーション

小学校の規模推移見込み(平22と平28比較)

40人学級の場合

平成22年5月1日現在

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	児童数 (平22・平28)
			適正規模	適正規模			
学級数 学校名	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校別	片口小学校 耐震性 有		平22(11) 平28(11)				平22 304人 平28 285人
	堀岡小学校 耐震性 有		平22(6) 平28(6)				平22 148人 平28 162人
	東明小学校 耐震性 有			平22(12) 平28(12)			平22 405人 平28 328人
	下村小学校 耐震性 一部校舎 有 体育館 無		平22(6) 平28(6)				平22 125人 平28 91人
再編	A小学校 B小学校						平22 982人 平28 866人

35人学級の場合(国新計画)

平成22年5月1日現在

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	児童数 (平22・平28)
			適正規模	適正規模			
学級数 学校名	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校別	片口小学校 耐震性 有		平22(11) → 平28(12)				平22 304人 平28 285人
	堀岡小学校 耐震性 有		平22(6) 平28(6)				平22 148人 平28 162人
	東明小学校 耐震性 有			平22(12) 平28(12)			平22 405人 平28 328人
	下村小学校 耐震性 一部校舎 有 体育館 無		平22(6) 平28(6)				平22 125人 平28 91人
再編	A小学校 B小学校						平22 982人 平28 866人

小杉ブロック(中学校) 学校を統合した場合のシミュレーション

中学校の規模推移見込み(平22・平28・平34比較)

40人学級の場合

平成22年5月1日現在

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	生徒数
			適正規模				
学級数	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校名							
学校別	小杉中学校 耐震性 校舎 無 体育館 有		平34(18) ←	平22(19) 平28(19)			平22 649人 平28 718人 平34 630人
	小杉南中学校 耐震性 有	平22(11) → 平28(12) 平34(9) ←					平22 363人 平28 412人 平34 330人
統合	小杉南中学校 小杉中学校				平22(27) 平28(30) 平34(25)		平22 1012人 平28 1130人 平34 960人

35人学級の場合(国新計画)

平成22年5月1日現在

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	生徒数
			適正規模				
学級数	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校名							
学校別	小杉中学校 耐震性 校舎 無 体育館 有			平22(19) 平28(22) 平34(20)			平22 649人 平28 718人 平34 630人
	小杉南中学校 耐震性 有	平22(11) → 平28(13) 平34(12)					平22 363人 平28 412人 平34 330人
統合	小杉南中学校 小杉中学校				平22(27) → 平28(33) 平34(30) ←		平22 1012人 平28 1130人 平34 960人

小杉ブロック(小学校) 4つの学校に再編した場合のシミュレーション

小学校の規模推移見込み(平22と平28比較)

40人学級の場合

平成22年5月1日現在

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	児童数 (平22・平28)
			適正規模				
学級数 学校名	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校別	小杉小学校 一部校舎 有 体育館 有		平28(18)←	平22(19)			平22 614人 平28 556人
	金山小学校 耐震性 有		平22(6) 平28(6)				平22 76人 平28 64人
	歌の森小学校 耐震性 有		平22(15) 平28(14)				平22 460人 平28 437人
	太閤山小学校 耐震性 有		平22(17) 平28(13)				平22 537人 平28 451人
	中太閤山小学校 耐震性 有		平22(13) 平28(12)				平22 404人 平28 366人
再編	A小学校 B小学校 C小学校 D小学校						平22 2091人 平28 1874人

35人学級の場合(国新計画)

平成22年5月1日現在

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	児童数 (平22・平28)
			適正規模				
学級数 学校名	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校別	小杉小学校 一部校舎 有 体育館 有		平28(18)←	平22(19)			平22 614人 平28 556人
	金山小学校 耐震性 有		平22(6) 平28(6)				平22 76人 平28 64人
	歌の森小学校 耐震性 有		平22(15) 平28(17)				平22 460人 平28 437人
	太閤山小学校 耐震性 有		平22(17) 平28(16)				平22 537人 平28 451人
	中太閤山小学校 耐震性 有		平22(13) 平28(12)				平22 404人 平28 366人
再編	A小学校 B小学校 C小学校 D小学校						平22 2091人 平28 1874人

大門・大島ブロック(中学校) 現状を維持した場合のシミュレーション

中学校の規模推移見込み(平22・平28・平34比較)

40人学級の場合

平成22年5月1日現在

学校別	学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	生徒数
				適正規模				
	学級数							
	学校名	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校別	大門中学校 耐震性 一部校舎有 体育館有			平22(18)	→平28(22) 平34(19)			平22 654人 平28 802人 平34 699人
現状維持	大門中学校			平22(18)	→平28(22) 平34(19)			平22 654人 平28 802人 平34 699人

35人学級の場合(国新計画)

平成22年5月1日現在

学校別	学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	生徒数
				適正規模				
	学級数							
	学校名	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校別	大門中学校 耐震性 一部校舎有 体育館有			平22(18)	→平28(25) 平34(21)←			平22 654人 平28 802人 平34 699人
現状維持	大門中学校			平22(18)	→平28(25) 平34(21)←			平22 654人 平28 802人 平34 699人

大門・大島ブロック(小学校) 現状を維持した場合のシミュレーション

小学校の規模推移見込み(平22と平28比較)

40人学級の場合

平成22年5月1日現在

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	児童数 (平22・平28)
			適正規模				
学級数 学校名	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校別	大門小学校 耐震性 有			平28(24) ← 平22(26)			平22 845人 平28 790人
	大島小学校 一部校舎有 体育館 有			平22(20) 平28(21)			平22 705人 平28 671人

現状維持	大門小学校			平28(24) ← 平22(26)			平22 845人 平28 790人
	大島小学校			平22(20) 平28(21)			平22 705人 平28 671人

35人学級の場合(国新計画)

平成22年5月1日現在

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模	児童数 (平22・平28)
			適正規模				
学級数 学校名	1~5	6~11	12~18	19~24	25~30	31以上	
学校別	大門小学校 耐震性 有				平22(26) 平28(26)		平22 845人 平28 790人
	大島小学校 一部校舎有 体育館 有			平22(20) 平28(22)			平22 705人 平28 671人

現状維持	大門小学校				平22(26) 平28(26)		平22 845人 平28 790人
	大島小学校			平22(20) 平28(22)			平22 705人 平28 671人

国が示す小中学校の適正規模、配置基準について

1 国が示す学校の適正規模

(1) 小学校の学級数は、12 学級以上 18 学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があるときは、この限りではない。

(学校教育法施行規則第 4 1 条)

(2) 中学校についても小学校と同様の規模を標準とする。

(学校教育法施行規則第 7 9 条)

2 国が示す学校の配置基準

児童・生徒の通学距離は、通常の場合、小学校児童にあつては 4 キロメートル、中学校生徒にあつては 6 キロメートルを最高限度とすることが適当であると考え、教育委員会は、地勢、気象、交通等の諸条件並びに通学距離の児童・生徒に与える影響を考慮して、さらに実情に即した通学距離の基準を定めること。

(昭和 3 1 年 1 1 月 5 日 中央教育審議会答申(抜粋))

小中学校教職員配置基準について

平成 2 2 年度 富山県教育委員会小中学校教職員配置基準（抜粋）

1 小学校

- (1) 校長 各学校に 1 名を配置する。
- (2) 教頭 3 学級以上の各学校に 1 名を配置する。
- (3) 学級担任等教員（学級数は特別支援学級を含む）

学級数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
教員数	1	2	3	4	5	7	8	9	10
学級数	10	11	12	13	14	15	16	17	18
教員数	11	12	13	14	15	17	18	19	20
学級数	19	20	21	22	23	24	25	26	27
教員数	21	22	23	24	25	26	27	29	30
学級数	28	29	30	31	32	33	34	35	36
教員数	31	32	33	34	35	36	37	38	39

2 中学校

- (1) 校長 各学校に 1 名を配置する。
- (2) 教頭 3 学級以上の各学校に 1 名を配置する。
- (3) 学級担任等教員（学級数は特別支援学級を含む）

学級数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
教員数	3	4	6	8	9	10	12	13	14
学級数	10	11	12	13	14	15	16	17	18
教員数	16	17	18	20	21	23	24	25	27
学級数	19	20	21	22	23	24	25	26	27
教員数	29	30	32	33	35	36	37	39	40
学級数	28	29	30	31	32	33	34	35	36
教員数	42	43	44	46	47	49	50	52	53

特別支援学級を置く学校は、上記の表により算定した数に特別支援学級の数を加算した教員数を配置する。

小中学校学級編制基準について

平成 2 2 年度 富山県教育委員会学級編制基準（抜粋）

1 小学校

学 級 編 制 の 区 分		
(1)	同学年の児童で編制する学級	4 0 人
(2)	2 の学年の児童で編制する学級（複式学級） （第 1 学年を含む学級）	1 5 人 8 人）
(3)	特別支援学級	8 人

小学校 1 ・ 2 年生は、少人数学級の研究を行う学校において、3 5 人以下学級を実施する。なお、2 年生に学年進行する際に児童の転出等で学級減となる場合、1 年生時の学級数を継続できるものとする。

小学校 4 年生、6 年生において学級維持制度（ソフトランディング制度）を実施する。

2 中学校

学 級 編 制 の 区 分		
(1)	同学年の生徒で編制する学級	4 0 人
(2)	2 の学年の生徒で編制する学級（複式学級）	8 人
(3)	特別支援学級	8 人

中学校 1 年生は、少人数学級の研究を行う学校において、3 5 人以下学級を実施する。